

関西学院大学総合政策学部

Research Fair 2010

要旨集



開催: 11月5日(金)、6日(土)

主催: 関西学院大学総合政策学部

実施: リサーチ・フェア実行委員会

— 目次 —

1	学部長挨拶	1
2	プログラム	2
3	会場図	4
4	1日目要旨	5
	◆EC Presentation	5
	◆口頭発表	6
	◆ポスター発表	13
	◆自由形式	16
5	2日目要旨	17
	◆口頭発表	17
	◆ディベート大会	19
	◆自由形式・同窓会主催シンポジウム	20
	◆総合政策学部同窓会車座企画	21
6	授賞式・懇親会	24



(写真は2009年度撮影)

「知の祝祭」リサーチ・フェア2010に寄せて

総合政策学部長 久野武

総合政策学部の「知の祝祭」であるリサーチ・フェアが今年もまた神戸三田キャンパスで開催されることを大変うれしく、また大きな誇りに思います。

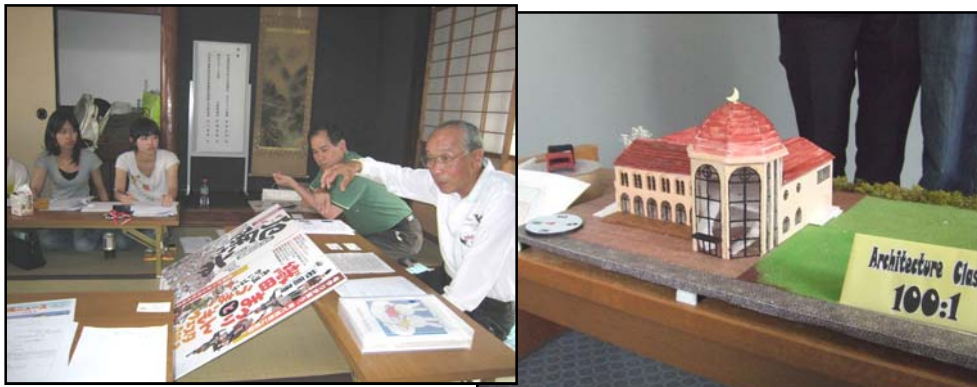
このリサーチ・フェアはソウセイだけで行われる学生・院生による研究発表と開かれた研究交流の場、いわば研究版学園祭であり、ソウセイのレゾンデートルの一つとといいでいでしょう。それだけに総合政策学部・研究科のすべての学生・院生諸君に参加して欲しいと思っています。

いま時代は大きく変わりつつあります。ベルリンの壁崩壊で、市場経済の勝利は確定したかに思えましたが、それから20年。一昨年のリーマンショックをきっかけに、それも怪しくなりました。日本でも戦後日本を良くも悪しくも牽引してきた自民党政権が崩壊し、民主党内閣が誕生し一年以上が過ぎましたが、迷走をつづけるばかりで、いまだに新たな社会への道程は定かではありません。われわれは海図なき世界をこれからも歩んでいかねばなりません。いまこそ総合政策的思考法が必要とされるときです。

このリサーチ・フェアを契機に、受身ではなく自ら行動し、他人事ではなく自分に関わることとして、世界の諸問題に向き合って欲しいと思っています。

リサーチ・フェアを通じて社会に目を向け、その課題を発見して、それを解決する政策について真剣に考える過程では、迷ったり、悩んだりしたこともあるでしょう。ですが、同時に考えることの面白さもわかってきたことと思います。そうしたあなたたちの経験は、将来、きっと生きてくると確信しています。

最後に、リサーチ・フェアの開催に際して様々な準備と運営に携わった学生諸君、そしてサポートいただいた同窓生や関係者の皆様に、心より感謝を申し上げます。



リサーチ・フェア2010プログラム

時間帯・教室ごとに、タイトルと発表代表者名、および記入された方のみ()内に所属ゼミとその先生の学科等を記しました(口頭発表はスペースの関係から、サブタイトルを省きました)。

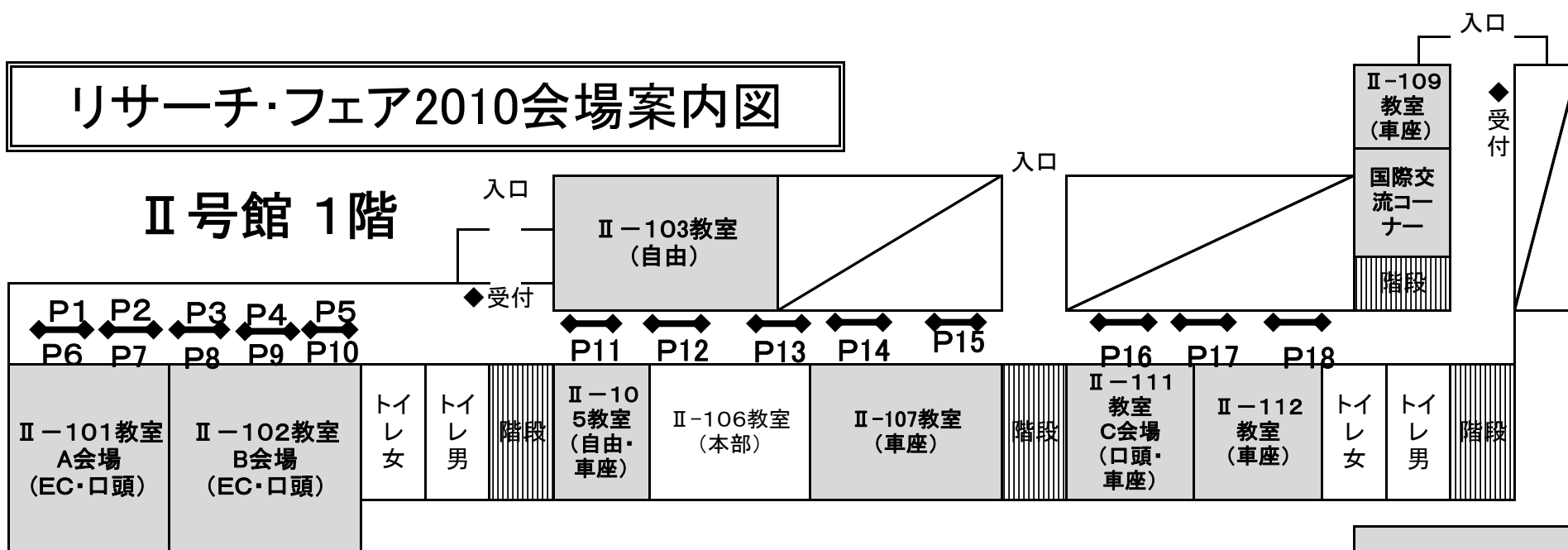
第1日（一月五日）	時間	口頭発表				自由形式		
		A会場（Ⅱ-101）	B会場（Ⅱ-102）	C会場（Ⅱ-111）	D会場（Ⅱ-201）	第1厚生棟前	Ⅱ-103	Ⅱ-105
		EC Presentation				自由形式1	自由形式2	自由形式3
		Ⅱ-101	Ⅱ-102	Ⅱ-111	Ⅱ-204			
	9:00	1. Death Penalty Shun Kimoto et al.	2. Internet Surveillance Rie Nagahata et al.		3. Nuclear Energy Hitomi Nakaiima et al.			
	9:30	4. Climate Change Yuki Sone et al.	5. Water Shortage Yuiin Kishimoto et al.	10. Organic Farming Ava Yanagihara & Avana Tashiro	6. Intl. Extradition Treaty Chiousa Murakami et al.			
	10:00	7. Organic Farming Atsumi Ouchi et al.	8. Health Education (Obesity) Erika Sada et al.		9. Water Management Yuka Aradaki et al.			
	11:00	A101 いじめ問題はなぜ起こる？ 荘孝宜(総政1年)他	B101 No ケータイ, No Life!? 山本吏紗(総政3年)他	C101 食料自給率問題 舩賀恵理(総政3年)他	D101 政権交代は制度変化・政策変化につながるか？ 濱本将太(総政3年;長峯ゼミ)他	M O N G O L I A 年・W E E K (総政3年・上野真城子ゼミ)他	高松佑季(総政4年・久野ゼミ)他 阿蘇における原維持 11:00~12:30	アメリカ政策研究など色々やっていますよ！ 桜井祐貴(M1)・小池ゼミの3・4年生
	11:30	A102 3E of Education 高岡紗妃(総政3年;Sawyerゼミ)他	B102 私語と公共性 山城千鶴(総政3年;鎌田ゼミ)他	C102 農業を通してこれからの日本を考える 田尻大樹(総政3年;小池ゼミ)	D102 政権交代は政策変化につながるか？ 松岡徳翔(総政3年;長峯ゼミ)他			
	12:00	A103 在日外国人の親と子のコミュニケーション 中尾美穂(総政4年;細見ゼミ)他	B103 私達に関学生と胸をはって言わせてください ■■■■(総政3年)他	C103 将来の豊かな地域づくりへ 水野久仁香(総政1年)他	D103 新たなチングスハーンは誰だ！ 多田渚(総政3年;上野ゼミ)他			
	12:30	A104 Non-Japanese residents in Japanese society 田中智沙(総政3年;Sawyerゼミ)他	B104 学生生活ご意見板 椿麻里奈(総政3年)他	C104 佐用学生連絡協議会の取り組み 福島康太(総政2年)他	D104 大草原からサンバイノー!! 井原史章(総政3年;上野ゼミ)他			
	13:00	A105 関西学院大学における難民入学制度について 伴地宏美(総政3年;細見ゼミ)他	B105 『人と人との共生』、できる？ 中澤早紀(総政3年;鈴木實ゼミ)他	C105 若い世代に元氣とうるおいを提供できるまちづくり 植本るい(総政3年;長峯ゼミ)他	D105 「中国不動産バブル」 平野学(総政3年;亀田ゼミ)他			
	13:30	A106 私たちが受けたかった国際理解教育 竜野咲(総政3年;細見ゼミ)他	B106 三田キャンパス「変」境論 門林千朱(総政3年;鈴木英ゼミ)他	C106 LRTでGO!! 杉本定之(総政2年)	D106 クジラは見るもの？食べるもの？ 前島浩平(総政3年)他			
	14:00~15:00	ポスター発表（タイトル・発表代表者は下に掲載）						
	15:00	A107 FREE or NOT FREE 大原和将(総政3年;古川ゼミ)他	B107 あなたの将来、本当にそれでいい？ 野尻あゆみ(総政3年;渡部ゼミ)他	C107 熊野古道 進藤佑希子(総政3年)他				
15:30	A108 女子大学生が理想とするイマドキ男子の消費行動 大谷龍平(総政3年;古川ゼミ)他	B108 日本の教育に物申す 喜友名美咲(三田祥雲館高校2年)他	C108 世界遺産と観光ビジネスをテーマに伊勢神宮と世界遺産である熊野古道伊勢路との歴史的関係 榎堀陽子(総政4年)他					
16:00	A109 女子大生を既存顧客に定着させるには 田中沙希(総政4年;古川ゼミ)他	B109 子どもに何が起きている？ 山本英貴(総政3年;渡部ゼミ)他	C109 環境意識と環境配慮行動 秦駿介(総政3年;安高ゼミ)他					
16:30	A110 知的財産権を活用した新たな音楽ビジネスモデル 松岡孝明(総政3年)他	B110 子育て支援 佐々木舞(総政3年;北原ゼミ)他	C110 学生が持つ食の安全性に対する意識調査 汲田祐樹(総政3年;安高ゼミ)他					
17:00	A111 地域活性化と産業の発展 柿本真菜(総政3年;眞壽田ゼミ)他	B111 日本高齢社会が変わる！ 深山寛子(総政3年;渡部ゼミ)他	C111 よく遊び、良く遊べ！ 竹田幸平(総政4;鎌田ゼミ)他					
17:30	A112 味の素がAJINOMOTOであるために 矢野未佳(総政3年;眞壽田ゼミ)他	B112 GDPへの貢献度 小松弘明(総政3年;亀田ゼミ)他	C112 アートに恋・三田に恋 安達葵(総政3年;八木ゼミ)他					
18:00	A113 GSR 川原あずさ(総政3年;小池ゼミ)他	B113 菅政権の掲げる「第三の道」の真の理論とは 三島亜弥子(総政3年;亀田ゼミ)他	C113 電車の多言語表示 大村堯也(総政3年)他		09:00~18:30	11:00~18:00		

ポスター発表					
No.	代表者名	タイトル	No.	代表者名	タイトル
P1	玉井有紀(総政3年;園田ゼミ)他	日本における外国人地方参政権	P10	玉垣綾子(総政3年)他	テーマパークが都市に及ぼす影響 ~USJが大阪にもたらした影響~
P2	前永未来(総政3年)	エコツーリズムによる少数民族支援~タイ山岳少数民族カレンを事例に~	P11	平岡裕也(総政研究科M1;李ゼミ)	自分を思いやる心はどこからくるのか？！
P3	近藤しおり(総政3年;今井ゼミ)他	東南アジアにおける児童買春と先進国の責任	P12	中村将央(総政3年;今井ゼミ)他	循環型学食生活~生ゴミから野菜を作ろう~
P4	磯山博輝(総政2年)他	赤字地方空港~空から飛行機雲が消える日~	P13	工藤風貴(総政3年;客野ゼミ)他	あなたのUV防止、間違ってますか？~「UVカット」製品の紫外線防止効果の実証~
P5	大部茜(総政3年)他	三田駅前商店街！人間国宝さん&グルメ巡りの旅	P14	有川沙希(総政1年)他	『風の谷のナウシカ』が共生観を変える！？~宗教の欠落という観点から~
P6	和田美香(総政3年;久野ゼミ)他	公園ビジネスへの提案~パークウェディング実施の可能性~	P15	西尾実(総政4年;眞壽田ゼミ)	オリコン週間ランキングから見る日本の音楽市場
P7	内田彩美(三田祥雲館高校2年)他	進化するやねだん	P16	亀川勇太(総策3年;李ゼミ)他	大学生の食生活に関する意識調査
P8	大内由花(総政3年;角野ゼミ)他	シニア住宅における“生きがい”創出プログラム	P17	■■■■(総政3年)他	私達に関学生と胸をはって言わせてください~名実ともに求められる関学の底力~
P9	岡田香美(総政3年)他	イベントで三田市を活性化！	P18	吉川恵(総政3年;山田ゼミ)他	ソーシャルメディアの普及と企業がすべきコミュニケーション

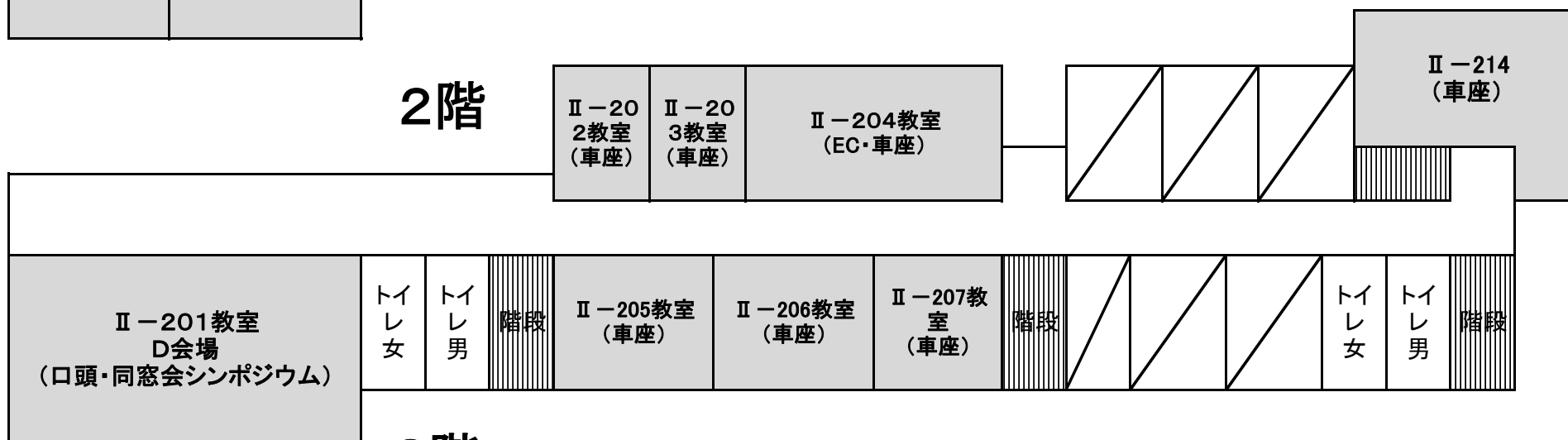
		口頭発表		ディベート大会 1			自由形式		同窓会OBG企画							
	時間	A 会場（Ⅱ-101）	B 会場（Ⅱ-102）	Ⅱ-303	Ⅱ-304	Ⅱ-305	第 1 厚生棟前	Ⅱ号館中央入口ホール	D 会場（Ⅱ-201）	Ⅱ号館各教室						
第 2 日（一月六日）	9:00	A201 無理矢理グローバリゼーション 湯浅徹也（総政3年）他	B201 無駄にしない命の雫 上家沙織（総政3年；上野ゼミ）他	第1組リーグ戦 「伊丹空港は廃止すべきである」	第1組リーグ戦 「小学生の英語教育義務化は是か非か」	第1組リーグ戦 「日本は食料自給率100%をめざすべきである」	自由形式1	自由形式4 開かれた非常利便性の波の活用プラットフォーム 9:00～13:00								
	9:30	A202 インドネシアにおける宗教間の空間構造の比較 松永卓馬（総政3年；角野ゼミ）他	B202 都市に緑を 千葉翔吾（総政4年；久野ゼミ）他													
	10:00	A203 4ポンドで空を飛ぶ？ 磯山博輝（総政2年；関学航空政策研究会）他	B203 緑地福祉のすすめ 槇香保里（総政3年；久野ゼミ）他													
	10:30	A204 地上デジタルテレビ放送に関する調査報告 栗山裕輝（総政3年；中野ゼミ）他	B204 コンクリートの川にホテルを増やそう 瀬戸山知晴（有馬高校2年）他	交替												
	11:00	A205 全国ご当地ゆるキャラクターについて 柴田絵理（総政3年；陣内ゼミ）他	B205 水質の感覚的指標の模索 赤川紀乃（（岡山龍谷高校1年）他	第2組リーグ戦 「伊丹空港は廃止すべきである」	第2組リーグ戦 「小学生の英語教育義務化は是か非か」	第2組リーグ戦 「日本は食料自給率100%をめざすべきである」			M O N G O L I A 年・W E E K S ゲルナウ。S 多田渚（総政3年・上野真城子ゼミ）他		09:00～17:30	総合政策学部同窓会総会 総合政策学部同窓会提供 シンポジウム（10:30～12:00） 三澤肇（関学経済学部） ・大西亮（総政出身）他 「記者の目から見た就活最前線！」 ～人は何故に「働く」のか？～ （p. 20参照）				
	11:30	A206 パパ、ママになりたい 武森ほのみ（総政3年；渡部ゼミ）他	B206 よい川ってどんな川？ 荒谷友美（岡山龍谷高校2年）													
	12:00	A207 児童虐待の発生要因とメカニズム 永尾愛（総政3；李ゼミ）他	B207 災害時における地域情報の活用に関する研究 榊原昌彦（総政M1；長谷川ゼミ）													
	12:30	A208 どう見る押尾裁判 野田麻実（総政3年；関根ゼミ）他	休憩			準決勝 1 準決勝 2 決勝						総合政策学部同窓会 OBG車座企画 Ⅱ号館各会場 （p. 21～p. 23参照）				
	13:00															
	13:30															
	14:00															
	14:30															
	15:00															
	15:30															
16:00																
16:30	表彰式・懇親会（第3厚生棟を予定）															
17:00																

リサーチ・フェア2010会場案内図

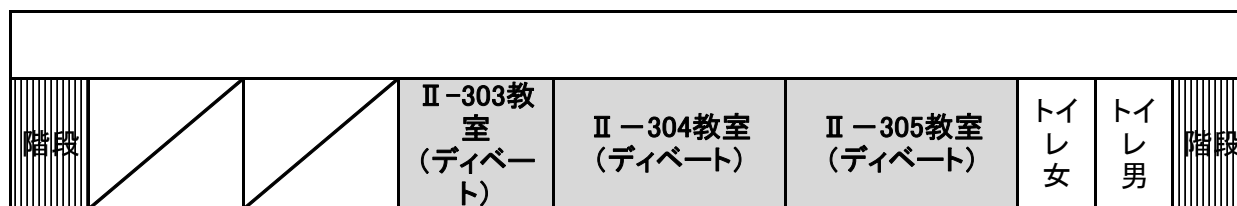
Ⅱ号館 1階



2階



3階



口頭: 口頭発表
P: ポスター発表
自由: 自由形式
EC: English Communication Presentation
車座: 総合政策学部同窓会「車座企画」

Reseach Fair 第1日 (11月5日 [金])

Research Fair EC Presentation Schedule 2010 (9:00～10:30)

教室	9:00～9:25	9:30～9:55	10:00～10:25
II-101	1. Death Penalty Shun Kimoto Mayu Wakamatsu Maiko Yamagishi Miho Nakamura	4. Climate Change Yuki Sone Naomi Goya Risato Kimura Midori Kawahara	7. Organic Farming Atsumi Ouchi Yukimi Mizuno Shinichiro Murakami
II-102	2. Internet Surveillance Rie Nagahata Mayuko Takano Yumi Ishihara Mai Kano	5. Water Shortage Yujin Kishimoto Shotaro Sosogi Shoko Katakura Nana Suehiro	8. Health Education (Obesity) Erika Saga Shohei Takai Yuka Oniwa Rie Nakajima
II-111		10. Organic Farming Aya Yanagihara Ayana Tashiro	
II-204	3. Nuclear Energy Hitomi Nakajima Kota Maeno Mari Kuroda Haruna Sakamoto	6. Intl. Extradition Treaty Chigusa Murakami Sachiko Nakano Mari Iwasaki Arisa Konishi	9. Water Management Yuka Aragaki Minori Samitani Midori Kawasaki Asumi Shoji



第1日(11月5日)口頭発表A会場(Ⅱ号館101教室)

11:00	A101 いじめ問題はなぜ起こる? ～統一性と個性の衝突～ <i>荘孝宜(総政1年)・池田葉月・藤井美穂・熊木優歩・井上慎太郎・村田春那・秋田大地</i> 教育現場におけるいじめ問題はなぜ起こるのか。それは、現代の社会システムと人間の内面に関係がある。前者はゲゼルシャフトの完成(個性や独創性を人々に求めること)に向かっているように見える。しかし、後者ではゲマインシャフト的な願望(心を通わせあい、信頼に満ちた生活を送ること)を持って突飛なことを避ける傾向が強い。この両者の関係がうまく調整されていないことから、いじめ問題が起こる。また、人間がもともと持つサディズムや、日本人独特の和を尊ぶ民族性によっていじめ問題が発展する。そして私たちはいまこうした新たな視点からいじめ問題に対処していかなければならない。
11:30	A102 3E of Education <i>高岡紗妃(総政3年; Sawyerゼミ)・浅沼瞳・藤田克麻・松原七菜</i> The importance of English is recognized in East Asia countries. In South Korea English education started at public elementary schools in 1997 with third grade students and the stated year will be lowered to first grade from 2008. In Japan, which is behind the other Asian countries in terms of English education, English education started at public elementary schools in 2002 as an optional rather than compulsory subject. Since it is optional, some elementary schools teach English on a regular basis while others don't. As a result the number of English hours and curriculum differ from school to school. Because of this trend in Japan, English education doesn't become better yet. As the world becomes more globalized, people will be needed to speak an international language, English, to say opinions and to communicate each other. So we hope we can shift our English curriculum from grammar translation to communicative based instruction like in Korea. We think the policy of English education in Korea is better than in Japan so we will compare 2 countries in terms of English education, and find some ways to improve English education. Also we will actually visit 2 public elementary schools in Japan to watch the classes. By doing it, we can get good and bad points of English classes. We think we should not forget that English is for all children. We hope we can improve English education for all children and present it in front of everyone in research fair.
12:00	A103 在日外国人の親と子のコミュニケーション <i>中尾美穂(総政4年; 細見ゼミ)・駄田井沙織・谷口美砂・神山愛美・佐藤弥生・田淵里佳・田中紀世子</i> 私たちは「在日外国人の親と子のコミュニケーションの問題」について取り上げる。在日外国人の親子には、子どもは日本語を上手に話せるが、親は日本語をあまり話せないというケースがよくある。このような親に対し、子どもは不満を抱くようになり、親子のコミュニケーションに亀裂が生じるのである。このような在日外国人の親と子のコミュニケーションの問題の背景には、「言語の問題」がある。そこで、私たちは在日外国人の親と子のコミュニケーションの問題を解決するために、言語の問題に絞って解決策を考える。
12:30	A104 Non-Japanese residents in Japanese society <i>田中智沙(総政3年; Sawyerゼミ)・松田デレク・吉田優紀</i> Our title of research fair presentation is "Non-Japanese residents in Japanese society". We are going to present what the circumstance of Non-Japanese residents is like and what problems are occurred in their life. The main problems of Non-Japanese residents are language, education, and communication with Japanese and its society. We've been researching how local government faces those problems and what tools and policies are taken for Non-Japanese residents. We collected materials and data by taking survey from immigrants living in Japan. Also we are going to show the example of some city's policy and unique tools for Non-Japanese residents. At the end of the presentation we will make own suggestion for local government to evolve present situation of its society.
13:00	A105 関西学院大学における難民入学制度について <i>伴地宏美(総政3年; 細見ゼミ)・北田千尋・高橋さくら・中野実香子・柴田真里那</i> 私たちは、関西学院大学の難民入学制度について発表します。この制度は日本の大学初の試みであり、社会的にも高く評価されています。しかし、難民学生にインタビューしてみると、様々な問題点が浮き彫りになりました。その中でも、出願資格と学校生活の2点に絞り、アンケートやインタビューを通じて調査を行います。その上で、新たな難民入学制度を提案したいと思います。ようやく注目され始めた難民問題を学生が身近に感じることで、一層の意識向上への相乗効果も期待できるのではないのでしょうか。
13:30	A106 私たちが受けたかった国際理解教育 <i>竜野咲(総政3年; 細見ゼミ)・飯川麻由・福岡奈津子・宮城歩実</i> グローバル化が進む世界の中、日本では国際化・多文化化が着実に進行している。その中で差別や偏見に囚われず、お互いの人権を尊重し合い問題を共に解決しようとする姿勢を得るのに国際理解教育は重要な役割を果たすと言える。しかしながら、私達生徒はそのような重要な教育を受けたという認識が薄いのではないか。この疑問から、国際理解教育をより意味のある物にするべく、小・中学校の教師と国際理解教育を受けてきたはずの大学生へインタビューをして認識のズレを把握し、そのギャップを埋めるような授業内容を提案する。

15:00	A107 FREE or NOT FREE 大原和将(総政3年; 古川ゼミ)・國安亮平・祖川遼子・田中美祐紀・鄭久美 昨今無料の雑誌や、無料オンラインゲームなど様々な商品やサービス分野で価格を無料にする0円ビジネスが注目を浴びています。ところが、これら0円ビジネスは決してボランティアではなく、実は誰も損をせず、むしろそこに関わる全てのステークホルダーが幸せになることが可能な、画期的なビジネスモデルであります。私たちは、『それではこの0円ビジネスは、果たしてどのようにして無料の商品から利益を上げるのか?』という点にとっても興味を持ち、そのことを深く研究してきました。0円ビジネスのカラクリとそのビジネスモデルの魅力に迫り、独自の視点から新たなビジネスモデルを提案します。
15:30	A108 女子大学生が理想とするイマドキ男子の消費行動 大谷龍平(総政3年; 古川ゼミ)・伊藤慧・白京善・中西麻緒・美馬由佳・松岡彩乃 男子必見! 草食系男子に次ぐイマドキ男子の特徴としてアサヒ飲料(株)の男子消費行動調査で現れた「サイダー男子」。サイダーの「さわやか」「自然」「かざらない」というイメージがイマドキ男子の特徴に一致するという結果から我々は、サイダー男子を「さわやか」「自然体」「純粋」と定義づけた。実際に現代の男子学生がサイダー男子化しているのか、関関同立に在学する男子学生300人を対象にアンケート調査を行い、また同様に女子学生が求める理想の男性像をアンケート調査し、どうすればモテるのか、消費行動を中心に提案する。
16:00	A109 女子大生を既存顧客に定着させるには～高価格化粧品業界～ 田中沙希(総政4年; 古川ゼミ)・村井聡(総政3年)・北尾理恵・松田千晶・ペヒョンジュン 「女子大生の化粧品投資額の差を生む要因」を明らかにする。化粧をすることの定義は、自己認識、そしてパーソナルアイデンティフィケーションの中核にある顔を、自ら作りかえる行為とされている。そこから、「他者から見た自己を意識しているほど、化粧に対する意識が高くなり、投資額も必然的に高くなるのでは」という仮説を立て、アンケート調査を開始した。まず、対象を女子大生に絞り、投資額の差で分類を行う。そこから、差の要因と考えられる心理面の調査を行い分析する。また、分析結果と心理的要因から購買行動を予測し、マーケティングを行う。
16:30	A110 知的財産権を活用した新たな音楽ビジネスモデル 松岡孝明(総政3年)・清水佑紀・藤井智子・大岸良 現在音楽業界は減収の一途をたどっている。以前まで伸びをみせていた音楽配信サービスもここにきて衰退している。そこで私たちは知的財産権を有効に利用している3つの例から新しいビジネスモデルを模索します。初めに著作権とそれに付随する権利を紹介し、次にmy space, itunes, ニコニコ動画が実際どのように知的財産を有効利用しているか紹介します。
17:00	A111 地域活性化と産業の発展～地域団体商標の魅力～ 柿本真菜(総政3年; 眞壽田ゼミ)・藍郷心太郎・今田有香・難波亮介・藤本真琴 私たちが商品を買う際に一つの目安にするもの、それが商標、ブランドです。今、この商標の中でも地域団体商標が注目を集めています。ご当地検定やゆるキャラを始めとする地域人気。地域の活力衰退が叫ばれる中、『地域名』+『商品名』から成る地域団体商標制度はこれらと同様、地域活性化へ向けた取り組みとして今各地で広がっています。しかしこの地域団体商標は様々な規定もあり、商標を取得するのは容易なことではありません。今回、私たちはこの地域団体商標制度、そしてこの制度が地域経済に及ぼす影響について発表します。
17:30	A112 味の素がAJINOMOTOであるために～ブランドを守る～ 矢野未佳(総政3年; 眞壽田ゼミ)・井手昭太・小林篤史・末吉桂祐・森本千晴 まず商標について説明し、商標を説明するうえで、日本十大発明の一つであるグルタミン酸ナトリウムを発明した池田菊苗が創始者である味の素株式会社に注目する。現在、味の素グループは22の国・地域に拠点を置き、食品やアミノ酸、医薬品など、さまざまな事業を展開している。商品を販売している国・地域は130以上にのぼり、今後も地域・商品の拡大を計画している。このようにグローバルに展開している味の素株式会社がどのようにして大きなブランド力を持ったか。「商標」に着目して、海外での知財活動も含めて発表する。
18:00	A113 GSR～命を繋ぐ赤い糸～ 川原あずさ(総政3年; 小池ゼミ)・藤田沙希・津田友紀子・辻麻実絵 GSRとは、Global Social Responsibility の略です。CSRという概念は日本でも定着してきましたが、GSRは、法令順守やリスク管理などの企業責任論を超え、積極的によりよい社会の実現を目指して行動する「攻めのCSR」に焦点を当てた考え方です。企業が各国政府、市民社会とグローバルに連携しながら、温暖化防止のためのCO2削減や自然エネルギー開発、貧困削減、水問題など地球規模の課題の解決を経営のプロセスの中に取り込んでいくという日本発の新しい概念です。私たちは、そのGSRの活動として、新たな企業活動を提案します。

第1日(11月5日)口頭発表B会場(Ⅱ号館102教室)

11:00	B101 No ケータイ, No Life!? ～あなたはそうじゃないと言い切れる?携帯依存症の怖さ～ 山本吏紗(総政3年)・仲恵子・西村祐佳 今では誰もが当たり前のように持っている携帯電話。それは私たちの生活をより便利で充実したものにしたと同時に、それなしでの生活は考えられなくなってしまった。例えば、家の中でも外でも常に携帯をさわっている。目の前にいる友達とおしゃべりしながらも携帯が気になっている、といった場面を見かけたり自分自身思い当たる節があったりしないだろうか。携帯電話の提供するサービスに没頭し、それが日常生活に支障をきたすほどの状態を携帯依存症という。これから進化し続ける携帯に自分の生活を乗っ取られることなく上手く付き合っていく必要がある。
11:30	B102 私語と公共性～私語のない教室へ～ 山城千鶴(総政3年・鎌田ゼミ)・徳山まど・北山恵理・竹崎加奈・岩崎亮太(総政4年)・福井遼 近年、大学講義での私語が問題視されている。この問題を解決するために多くの対策が施行されてきたが、それらは学生のモチベーションや講義環境にのみアプローチしたものであったため十分な効果を発揮しなかった。我々は、公的な場である大学のルールを意識しない行為を私語だと定義する。そのように私語を捉えたと、私語の原因として学生の公共性意識(他者と共に生きる姿勢)の喪失が浮かび上がる。本発表では私語の原因を個人のモチベーション、システム、公共性・マナーに分類し、それぞれの対策を提示した上で包括的な解決を目指す。
12:00	B103 私達に関学生と胸をはって言わせてください～名実ともに求められる関学の底力～ ■■■■(総政3年)・高橋健・徳本優・真鍋達哉・井上彩友美・岩下飛鳥・賈瑞・馬場美由紀・村上千明・八木駿祐 総合政策学部が有名な大学は慶應義塾大学である。総合政策学部生であると言ったときに「すごい」と言われることを何度となく私たちは経験している。それは関学総政のイメージなのか?慶應の学生のおかげではないのか?仮に慶應の学生が我々を超える存在に育成されているとしたら関学とは何が違うのか?他の政策系学部はどうなのか?知名度はもちろん、学びの質においてもファーストチョイスを目指し、世界に誇れる関西学院大学、関西学院大学卒業生を育成するためにはどうすればよいのか。以上の事を実際の調査データを元に考察提案する。
12:30	B104 学生生活ご意見板～より充実した学生生活を送るために～ 椿麻里奈(総政3年)・森花奈子・梁君明・尾末真希・横田貴大・大倉和子・内藤慎平・長井悠・山本侑紀・岩手登・丸岡裕和・渋谷将太・石川琢磨・盛達也・大坂有香 あなたの学生生活は今、充実しているだろうか。もし、充実していないとしたら、それはなぜだろうか。今ニュースでも話題となっているように、大学生の多くが「留年、友人、様々な理由で簡単に学校を辞めてしまう」という事を耳にする。では、そういった問題を解決するためにどのような解決策があるのだろうか。私たちは、アンケート調査を通じて、学生生活の上での様々な課題や問題を発見し、より多くの学生が充実した学生生活を送れるようにするための解決策を提案する。
13:00	B105『人と人との共生』、できてる? ～障がい学生支援を支える人づくり～ 中澤早紀(総政3年・鈴木實ゼミ)・岩佐大地・松本亮平・津田百合恵・金子大介 総合政策学部のテーマの一つ「人と人との共生」。この視点に立って、本学部では障がいをもつ学生への就学支援に取り組んでいる。現在37名の学生が実際に活動に携わり、活躍している。しかし支援体制には、支援スキルの伝承、支援学生の人数確保といった課題があることが判明した。また共生のためには、障がい者だけに焦点を当てるのではなく、誰もが利用しやすい環境をつくる「ユニバーサルデザイン」の考え方が重要になる。この考えに基づいて、「人と人との共生」がより可能になる学習環境を目指し、持続的に支援を行える新しい体制を提案していく。
13:30	B106 三田キャンパス「変」境論～総政執行部への提言～ 門林千朱(総政3年・鈴木英ゼミ)・高橋真理・津田佳苗・内貴麻衣子・松崎美穂・矢野奈保子 三田キャンパスに学生寮が必要だと思ったことはありませんか?ホールやジム、会議室を備えた学生会館があったら私たちの活動範囲が広がると思ったことはありませんか?キャンパスライフを充実し、満喫したいKSCの学生の思いを一つの政策案として提言したいと思います。多くの学生が三田キャンパスを舞台に世界へ飛翔することを願い、今後の三田キャンパスの発展にも繋がりたいと考えています。“Think Globally, Act Locally”、今、身近な問題から世界の扉を開く。私たちは世界一の大学キャンパスを目指します。



15:00	B107 あなたの将来、本当にそれでいい？ <i>野尻あゆみ(総政3年; 渡部ゼミ)・小西彩香・佐藤結・豊田智大</i> みなさんは、具体的な将来ビジョンが描けていますか？近年、就職後3年以内で離職する若者が増加傾向にあります。その1つの原因が、若者の将来設計をする機会の不十分さにあるのではないかと私たちは考えます。そこで、若者の自己像形成というミクロレベルと、日本を含め、世界各国のキャリア支援体制というマクロレベルとを、文献とアンケート調査から紐解く中で結びつけ、1つの政策を提案します。この機会にみなさんも一緒に自分の将来を考えてみませんか？
15:30	B108 日本の教育に物申す <i>喜友名美咲(三田祥雲館高校2年)・佐々木里奈・上西亜詩子・藤村真帆</i> さまざまな問題が山積する日本の教育。その中でも、学力低下は早急に解決すべき重要な問題です。なぜ、学力が低下したのか、学力向上のための方策は何か、国際的な比較を通して、日本の教育に物申します。
16:00	B109 子どもに何が起きている？～あなたにもできる情動教育～ <i>山本英貴(総政3年; 渡部ゼミ)・梶本興平・安部由希子・萩原里沙</i> 「めっちゃむかつく！」 あなたは怒を感じた時に、その感情をどのようにして抑えますか？現在、一部の子どもたちは自分の感情を上手く制御できないでいます。なぜなら、情動知能が低い子どもが増えているからです。また、それが「キレる」や「いじめ」といった問題の原因のひとつとして考えられています。情動知能とは、自分の中に抱かれた感情をコントロールしたり、相手の感情を認識して共感することで、よりよい人間関係を築くことができる能力です。私たちはこのような問題を解決するためには家族が主体になって教育を行う必要があると考え、親と兄弟ができる情動教育の方法を提唱する。
16:30	B110 子育て支援～課題と今後の可能性～ <i>佐々木舞(総生3年; 北原ゼミ)・中村早希・竹原三貴・中野遥</i> 北原ゼミは、女性の社会進出、少子化などに対して必要とされる子育て支援をめぐる課題に取り組んだ。出発点は子育て支援策の遅れに対する疑問、「核家族など家族のあり方や女性の働き方など社会の変化に、行政や企業などの支援が追いついていないのではないか」という疑問である。焦点を、企業や行政における子育てに関する保障・サービス支援に絞り、これまでの仕組みや争点を検討するとともに、行政や企業の関係者へのインタビュー調査を実施する。それをもとに、子育て支援の停滞原因を究明、課題とその対策を提示する。
17:00	B111 日本高齢社会が変わる！～団塊世代の人たちの居場所確保について～ <i>深山寛子(総政3年; 渡部ゼミ)・香山優子・井上朋美</i> 2年後、団塊世代が高齢期に突入する。そのことより「居場所がない」と感じる高齢者が増加すると私たちは考える。一方で現在、高齢者が「居場所がない」と感じている状況を防ぐための国の制度・政策がいくつか存在する。それらの制度・政策により、自分の居場所を見つけ、暮らしている高齢者もいるだろう。しかし、問題は団塊世代は人数が多いだけでなく、今までの高齢期に入った世代とは大きく生き方も考え方も変わっていることだ。それらの特徴を分析し、「居場所がない」高齢者を防ぐための国の制度・政策が団塊世代のニーズに応えられるのか検討する。
17:30	B112 GDPへの貢献度～若者と高齢者のどちらが日本経済に好影響を与えるのか～ <i>小松弘明(総政3年; 亀田ゼミ)・中川大貴・藤本貴世</i> 今日、日本は高齢化社会となっており、国の予算配分が「高齢者」向けに偏っている。では、「高齢者」向けに偏った予算配分は、日本経済の向上に繋がるのか。次世代を担う「若年者」にこそ、少しでも国の予算を配分した方が日本経済の向上に繋がるのではないかと。それを明らかにするためには、GDPへの貢献度の推計が必要になる。しかし、「高齢者」と「若年者」のどちらがより日本経済の発展に貢献できるのかを証明する先行研究はない。そこで私たちは、日本経済への貢献をGDPの増減と定義し、世代別の労働力をもとに、重回帰分析を用いてコブ・ダグラス型生産関数を推計し、GDPにどのように影響するかを分析する。
18:00	B113 菅政権の掲げる「第三の道」の真の理論とは～医療・介護における雇用創出は機能するのか～ <i>三島亜弥子(総政3年; 亀田ゼミ)・森綾乃・新家功一郎(総政2年)</i> 第174回国会における内閣総理大臣所信表明演説において、菅直人総理は「第三の道」と呼ばれる経済政策を提唱した。この「第三の道」では、過去20年間の経済政策の失敗に学び、医療や介護などの分野で雇用を創出すると、日本の経済は成長すると菅総理は言う。本政策は、内閣参与である小野善康教授の理論を基に構成されている。しかし、小野教授の考えでの雇用創出と菅総理が提唱している「第三の道」での雇用創出は、完全には対応していないのではないかと。そこで、小野教授の理論を明確にし、菅総理と小野教授がそれぞれ構想している「第三の道」の違いを明らかにする。

第1日(11月5日)口頭発表C会場(Ⅱ号館111教室)

11:00	C101 食料自給率問題～農林水産省を訪問して～ <i>舩賀恵理(総政3年)・黄丹丹・金子咲紀・中村奨平・金恩珠・田中千恵・崔花・伊藤貴之</i> 発表の目的は食料自給率についての知識を整理し、共有することである。調査方法は、2010年7月30日に農林水産省を訪問した。食料自給率問題に関する国会議事録、農林水産省のホームページ及び書物を参考にし、予め質問リストを作成した。インタビューを円滑に進めるために私たちが最も調査したい質問を6つ用意した。当日は農林水産政策研究所の株田文博さん、大臣官房食料安全保障科の道管稔さんとお会いし、2時間ほど質問に答えて下さり、また食料問題における知識を教えて頂いた。リサーチフェアまでの一ヶ月間で農林水産省のホームページや頂いた資料、書物及び実際に録音した生の声を元に分析を進め、討論を重ねていきたいと考えている。私たちが食料自給率問題で最も伝えたい事やこれからの日本の食料自給率のあり方を見つけ、発表したいと考えている。
11:30	C102 農業を通してこれからの日本を考える～Gori Farm三木モデルの確立を目指して～ <i>田尻大樹(総政3年)・小池ゼミ</i> 近年、農業に従事する人口が年々減っている。その理由として、若者の農業離れ、農村に住む人々の高齢化、地場産業の都市部への流出などがあげられる。現在第一線で農業を引っ張っているのは60歳～80歳の人々である。つまり日本の農業は残り20年程で廃れてしまう恐れがあるということである。私はこの現状を打破するべく、2010年春より三木市で農業を始めた。地域の人々の協力を得ながら農業をすることにより、多くの問題に直面するようになった。今回は農業を通して発見した問題を紹介し、その理由と改善策を実体験に基づき発表する。
12:00	C103 将来の豊かな地域づくりへ～コミュニケーションに焦点を当てて～ <i>水野久仁香(総政1年)・遠矢藍莉・三河友美・三枝香代・武末佐恵加・横田善樹・勝又康起</i> 現在地方は、少子高齢化をはじめとした多くの問題を抱えている。そしてこの解決策として、地域活性化活動が盛んに行われており、またこの活動の方法には様々な形態が存在している。だが私たちは、このように多種多様な形態も、結局根本では、地方におけるコミュニケーションの不足が関係していると考えます。実際それは、地域住民である自分たちができるのではないだろうか。この人間関係に関係するという考えを検証するにあたって、今日学生が行っている地域活性化の活動の調査を行い、各団体が対象とした地域の住民や土地の特徴を分類する。
12:30	C104 佐用学生連絡協議会の取り組み～「若者がほしい」という声に応えるために～ <i>福島康太(総政2年)・植田菜摘</i> 私たち佐用学生連絡協議会は、小規模高齢集落がたくさんある佐用町で「若者がほしい」という佐用町民の声に応えるために活動している。私たちは、「若者がほしい」という言葉から、若者が佐用町で何ができるかを考えた。そこで、私たちは、佐用町民との交流を通して、佐用町民に活気を付けてもらうことを目的にした『逢い愛訪問』という活動を始めた。この「逢い愛訪問」により、私たちが、どのように若者が佐用町の力になったのか、そして、今後どのように「若者がほしい」に対して応えていくかについての考えを述べる。
13:00	C105 若い世代に元気とうるおいを提供できるまちづくり <i>槌本るい(総政3年)・長峯ゼミ・大江千尋・松田玲・盛瑛宏</i> 人口減少・少子高齢化が進む現在の日本で、都市が元気とうるおい持って存続していくためにはどのようなまちづくりが必要なのか。近年、急速に人口増を経験し発展を遂げた三田市のような都市も、やがては人口流入が止まり、人口の高齢化と年齢構成のバランスが崩れてしまう恐れがある。都市が持続的な発展を続けるためには、バランスのよい人口構成を保つことが課題である。そこで私たちは、若い世代を絶えず引き付けるための、子育て世代を対象にしたまちづくりを考える。
13:30	C106 LRTでGO!!～街に夢と希望を運ぶ魔法のトラム～ <i>杉本定之(総政2年)</i> 近年発展を続ける神戸三田キャンパス。しかし、暗黙の了解として、放置されてきた問題が存在した。学生の通学手段である。「バスにもっと人が乗れたら、授業に間に合ったのに!!」そんな学生の叫びは、誰にも届かずにいた。一方、三田市では中心市街地の空洞化が進んでいた。かつて栄えた三田駅前の商店街も、衰退の危機に瀕している。「何でもいい。この不都合な世の中を変えてくれ泣」そこに、救世主が現れた!!それが、LRT(次世代型路面電車システム)。バスよりも速く、多くの人を運べる次世代の路面電車が、街に夢と希望を運び込む!!



15:00	C107 熊野古道～世界遺産登録後の実態～ 進藤佑希子(総政3年)・天野まゆら・竹田静香 世界遺産登録によっておこる問題を、熊野古道を例にあげて発見し、その解決策を述べる。世界遺産の登録後の問題点を調べ、アンケートを作成し、地域住民や観光客にインタビュー形式の聞き取りで、質的調査をとるという方法で行った。世界遺産登録された熊野古道に対しての意見を集計した結果、2種類の住民の意見と、観光客の意見の3種類の意見に分けられる。2種類の住民とは、世界遺産登録によって弊害があった住民とそうでなかった住民である。そうでなかった住民の登録後の問題に対する意識は低い。その意識を高めるためには、世界遺産センターの活用などが有効な方法である。
15:30	C108 世界遺産と観光ビジネスをテーマに伊勢神宮と世界遺産である熊野古道伊勢路との歴史的関係 榎堀陽子(総政4年)・福本・王・岡東・関・後藤・堀江・薛 世界遺産と観光ビジネスをテーマに伊勢神宮と世界遺産である熊野古道伊勢路との歴史的関係を調査した。また、どのような観光政策を行い、観光客を増やしているのかや、閑散期にどのような取り組みをしているのかを調査した。
16:00	C109 環境意識と環境配慮行動 秦駿介(総政3年)・安高ゼミ)・吉本大起・吉田昂史 私たちは、総合政策学部の学生がどれだけ環境に対して意識し、どれだけ環境に配慮した行動をしているかに興味を持ち調査することにしました。アンケート調査を行った結果、男女、自宅生・下宿生、回生のそれぞれの視点で異なる結果が得られました。また、学生の環境配慮行動の要因は、環境意識由来ではなく、個人の利益に直結するものが多いということが明らかになりました。本研究発表では、個人の環境意識をいかに向上させるかという点には触れず、個人の利益追求をうまく利用した環境配慮行動を提案していきます。
16:30	C110 学生が持つ食の安全性に対する意識調査 汲田祐樹(総政3年)・安高ゼミ)・大曲聖・菅原菜保・山本わかこ・西山智代(総政4年) 私たちは、大学生が持つ、ふだん私たちが食べている料理に使われている食材への安全性に対する意識がどのようなものか疑問に感じた。研究方法として、関西学院大学三田キャンパスの大学生150人に生協食堂メニューに対する意識についてアンケート調査を行った。その結果、半数以上の学生は食堂メニューへの改善点として、産地、食材の安全性ではなく、価格や種類、味を挙げた。つまり、学生には生協の食べ物は安全だという意識があるため、産地や安全性への意識が低くなっていることが本研究で明らかとなった。
17:00	C111 よく遊び、良く遊べ！ ～リアリティとバーチャル・リアリティの観点から～ 竹田幸平(総政4年)・鎌田ゼミ)・塚本真己・中野真理子・園田達也・増田竜馬・塙恵美(総政3年)・山本沙羅・高橋祐介 本来の「遊び」は、共同で新しい世界と、そのルールとを創っていくことにある。ホイジンガは『ホモ・ルーデンス』で「遊びは文化よりも古い」と述べた。だが、本書での「遊び」の意味も本質も、現代では単純化されていることが多い。 現代的な遊びには、デジタル化の進行によって質の変化が見られる。バーチャル・リアリティに基づく遊びの勃興である。そこで、バーチャル・リアリティとリアリティの観点から、現代の遊びと伝統的な「遊び」を比較する。現代社会には、本来のリアリティに基づいた「遊び」が求められているのである。
17:30	C112 アートに恋・三田に恋～KGアートフェスタで三田を芸術の街に～ 安達葵(総政3年)・八木ゼミ)・岩田知子・大貫裕宣・佐藤優子・清水那緒・祖父江ゆり・高橋朋子・福嶋雪菜・細川哲星・守さゆみ・横山未央・若林裕子 私たちは、関西学院神戸三田キャンパス(以下KSC)に学ぶ学生として、キャンパスにどのような思いを持っているか。この思いを、アンケート調査のよって明らかにし、KSCにおいて勉学の向上と学生生活を大いに楽しむ方法を提案することを本研究の目的とする。調査結果をもとに、KSCを離れたくないと思わせる方法として提案するのは、三田でのアートフェスタの開催。アートで学生自身が、KSCの空間づくりに参加するのだ。私たちは、学生のみならず、近隣住民の方々とともに愛される三田のまちを目指す。
18:00	C113 電車の多言語表示 大村堯也(総政3年)・孫健・堀上理恵・須方めぐみ 関西に存在する電車の各路線の駅にある表示板(出口、切符売り場、お手洗いの3つ)に限定し各路線での使用言語の違いや言語的意味は適切なものか？また中国へのビザ緩和による中国人観光客増加の影響と現状の中国語表示について調査を行った。

第1日(11月5日)口頭発表D会場(Ⅱ号館201教室)

11:00	D101 政権交代は制度変化・政策変化につながるか? 濱本将太(総政3年・長峯ゼミ)・久保元人・小林法子・大久保香・柏戸菜穂子 2009年8月の総選挙で日本において本格的な政権交代が起こった。新たに発足した民主党内閣は、選挙の際に掲げていたマニフェストに基づいて政策決定手法の改革・政策の変更を行っている。政権交代には時代状況に合致した政策体系に組み替えるための手段としての役割・意義があるはずである。私達は、日本の民主主義体制おいての総選挙による政権交代において、①なぜ今回の政権交代が起こったのか、②民主党政権の掲げる政治主導・子ども手当て等の制度・政策変化は評価できるのか、ということについて90年代からの自民党政権と比較することで意義があるのかどうか評価する。
11:30	D102 政権交代は政策変化につながるか?～ヨーロッパの環境政策から考える～ 松岡徳翔(総政3年・長峯ゼミ)・森本葵・久木知世・鈴木敦博・平川綾子 2009年夏の総選挙で、自民党から民主党への本格的な政権交代が実現した。国民は、政権交代による政策の変更に期待したが、今のところそれほど大きな変化は見られない。環境政策にも同じことが言える。政権交代によって、日本の環境政策に何らかの変化が起き、良い方向へ導かれたのだろうか。そもそも、政策変化・制度改革を実現するために、政権交代は必要なのだろうか。これらの事象を、環境政策先進国であるヨーロッパ、主にドイツ・イギリス・スウェーデンの政治を読み取り、いかにしてヨーロッパが環境政策を進めることできたのかを考察し、日本の政治とヨーロッパの政治を比較することで、日本が行うべき政治・政策を提案する。
12:00	D103 新たなチングスハーンは誰だ!～モンゴルの未来をつくる子供たち～ 多田渚(総政3年・上野ゼミ)・岡田真由香・奥村美也子・中谷昌彦・山見玲加・坂上勝基(総政4年) 物資を与えるだけの途上国援助のカタチの時代は終わりです。モンゴルの子供たちを「育て・自ら行動を起こさせる」という観点からモンゴルの都市開発の未来を考えます。モンゴルの高校生自らがコミュニティづくりに携わり、自らの国の諸問題を解決する能力を育成することを目的に、上野ゼミでは実際にモンゴルに赴き、彼らの意識向上につながる活動を行っています。未来のモンゴルを担う子どもたちの育成を日本の教育カリキュラムを参考に、新たな提案を打ち出します。「生きる」政策をご覧ください!
12:30	D104 大草原からサンバイノー!! ～“地球儀を心に”モンゴル国を旅する～ 井原史章(総政3年・上野ゼミ)・黒田裕子・横山翔太郎・横山千尋 我々上野ゼミは“地球儀を心に”という志のもとに集まり、今年もモンゴルに研修に行ってきました。みなさんにとってモンゴルは近いようで意外と遠い国だと思いませんか? 同じアジアの国でありながら、実情を知る人も情報も決して多くはないと思います。我々はこの日蒙間に存在する意外な壁に着目し、実際に現地でアンケート票調査を行いました。そして、この壁を打破する為には人材交流に鍵があるのではないかと考えました。この発表で我々が感じたモンゴル国を伝え、調査から考察する日蒙関係・交流の未来を提言します。Let's think Mongolia with us!!
13:00	D105 「中国不動産バブル」～新対応策BISの実用性・有効性～ 平野学(総政3年・亀田ゼミ)・勝世陽・松本昌史(総政2年) 中国の急速な経済成長に伴い、不動産価格も急速に上昇している。バブル期の日本経済においても、急速な不動産価格上昇が見られた。その結果、90年代前半バブルが崩壊し、大不況に陥った。これらを踏まえると、現在の中国経済は、日本のように、崩壊の一途を辿っている。バブル崩壊を未然に防ぐ対策として、バブル崩壊後に金融緩和を行うFED VIEW対策が、有力視されている。しかし、中国のように経済規模が大きい国では、その効果は発揮されない可能性がある。そこで、バブル崩壊前に金利引き締め政策を行うBIS VIEW対策が有効であるかを、シミュレーションを通して検証していく。
13:30	D106 クジラは見るもの? 食べるもの? 前島浩平(総政3年)・葦田美緒・清水豊・谷浦智佳子・井上朋美 2010年6月に日本はオーストラリアに調査捕鯨を廃止するよう国際司法裁判所に提訴された。我々は、日本とオーストラリア間において問題視されている調査捕鯨について、無関心であってはならない。そこで、人類と鯨類との共存の在り方、資源である鯨の持続可能な利用の在り方を総合的な視点からアプローチしていきたい。



ポスター発表(ディスカッション・タイムは11月5日[金]14:00～15:00)

P1	日本における外国人地方参政権 <i>玉井有紀(総政3年・園田ゼミ)・道野栄二・栢木愛佳・深和美菜・横山智代・山本奈生子</i> 日本は今、変革期を迎えている。2009年の民主党への政権交代を機に、諸政策はがらりと変わり、また、情報化社会に伴い世界のさらなるグローバル化が進んでいる。それを物語るように、日本では労働力不足を背景に外国人人口は増加しつつある。そういったことから、外国人と我が国は切っても切り離せない関係にある。そのような日本社会は地域の一員となった外国人とどのように向き合っていけばいいのか。また、外国人の権利向上をどこまで進めていくのかを外国人参政権を通して考えていく。
P2	エコツーリズムによる少数民族支援～タイ山岳少数民族カレンを事例に～ <i>前永未来(総政3年)</i> 自給自足の生活の中で、伝統と文化を大切に守り続けてきた多くの少数民族たち。今、彼らは住む場所を奪われ、その生活は窮地にある。この発表では、タイの山岳少数民族カレンを事例に、持続可能な開発支援策としてエコツーリズムを提案する。エコツーリズムは、自然、歴史、文化などの地域固有の資源を生かしながら、それらの資源を適切な管理の下で保護する。ここでは、そうした彼らの生活や伝統を保護することを最優先に、その波及効果である経済効果を現地のもとへ最大限にもたらす方策を提案する。
P3	東南アジアにおける児童買春と先進国の責任 <i>近藤しおり(総政3年・今井ゼミ)・井上友紀恵</i> 「人身売買」という言葉を聞くと、遠い国で起こっている出来事のように感じるが、そのような意識で見逃してはいけない重要な問題である。なぜなら、日本(日本人)も関わりのある問題だからである。私たちは産業の発達した先進国が持つ責任もまた忘れられてはならない。私たちは、「人身売買」についてわかりやすく説明し、有効な改善策を導き出したい。
P4	赤字地方空港 ～空から飛行機雲が消える日～ <i>磯山博輝(総政2年・関学航空政策研究会)・境井彰</i> 日本にある空港の殆どは赤字空港であり、黒字の空港は、大阪国際空港や新千歳空港など、ほんの僅かである。日本の空港の多くを占める地方空港の赤字が声高に叫ばれる中、新たな地方空港である茨城空港が開港した。なぜ不必要だと叫ばれる赤字の地方空港が、廃港をされずに存続され、また増加しているのか。単純な疑問点から、日本の航空行政を含めた航空政策を考え、空港の現地調査から導き出された、私たちなりのこれからの地方空港のありかたと、『選択と集中』による空港廃港論を模索する。
P5	三田駅前商店街！人間国宝さん＆グルメ巡りの旅 <i>大部茜(総政3年)・中村幸代・小田恵理・前田桃世</i> 私たちは、三田のまちおこしについて発表する。関西テレビ”よいいどん”という番組でおなじみの”となりの人間国宝さん”というコーナーに基づき三田商店街で独自に人間国宝さんを認定する。また、商店街の隠れた名物や美味しいものを発掘し、グルメマップも同時に作成する。作成したマップを駅や学校内で配布する。そうすることで、三田商店街をより多くの人に知ってもらうことができ、商店街の活性化に繋がり、結果的に三田市の活性化にも繋がると考える。
P6	公園ビジネスへの提案～パークウェディング実施の可能性～ <i>和田美香(総政3年・久野ゼミ)・株式会社向川外樹園(石川県白山ろくテーマパーク指定管理者)</i> 都市公園は、生活環境の向上や地域コミュニティの構成、都市環境の改善等、様々な役割を担っている。特に市民生活が多様化する現在、これに合わせて都市公園の役割も多様化が進んでいる。一方、公共施設の管理・運営を民間企業等でも担えることとした指定管理者制度の登場により、“公園ビジネス”という新たなテーマも追求されている。そこで、本発表では都市公園の役割(活用の選択肢)を拡げるため、また公園ビジネスの拡充という視点から、公園マネジメントにおける一つ施策として“パークウェディングの導入”を提案し、その効果を示す。
P7	進化するやねだん <i>内田彩美(三田祥雲館高校2年)・今江明梨・石出悠希・永井瞳・藤本望</i> 地域活性化に力を入れる鹿児島県・柳谷(やねだん)。行政に頼らず、住民自らが一致団結して地域おこしに取り組んでいます。その姿を考察し、地方の町が元気を取り戻す方法を探ります。

P8	シニア住宅における“生きがい”創出プログラム 大内由花(総政3年・角野ゼミ)・田中美里・奥村順也 「高齢者住宅」「高齢者施設」と一口で言ってもサービス内容・入居条件・費用などは多種多様です。私たちは、その多種多様な高齢者住宅・施設の特徴や違い、入居するための条件などを中立的・客観的な立場からまとめ、そこではどのような“生きがい創出プログラム”が行われているのを調査、分析し既存のプログラムから脱却した全く新しい生きがい創出プログラムを提案する。
P9	イベントで三田市を活性化！ 岡田香美(総政3年)・垣尾俊彰・芝大智・珠玖知美・高本進雄・福田剛・長嶋さなえ 近年日本は、高齢社会という問題を抱えながら今後の社会を考えていかなければならない。三田市もその高齢化の問題を抱えているため、三田市がもつ力が年々弱くなってきている。しかし、三田市のすべてが高齢化によって悪くなっているわけではない。三田市における年間観光客数は増加しているのだ。だが、増加傾向にある中にも、まつりの部門のみが減少傾向にあるのだ。そのため私たちは、三田市を今以上に活性化させるため、減少傾向にあるまつり部門に焦点をあて、三田市のより活性化を試みる。
P10	テーマパークが都市に及ぼす影響～USJが大阪にもたらした影響～ 玉垣綾子(総政3年)・安井慎治・河田華奈・西村朋・上林夏美・立石彩菜・能登麻衣子 過去には、テーマパークが多く作られる時代があったが、現在では衰退してしまったテーマパークも多くある。実際、テーマパークによる観光入込客数とその年にどのくらいの経済効果をあげているのか不明であった。そこで私たちが住む関西にあるUSJが大阪にどのくらいの効果をもたらしているかを調べることによって、テーマパークの効果を明確にしたいと思う。また、世の中ではテーマパークの集客力は低くなっている印象があるが、本当にそうなのかという点を、観光を学ぶ上で知っておく必要がある。
P11	自分を思いやる心はどこからくるのか？！ 平岡裕也(総政研究科M1・李ゼミ) あなたは家族、友人、お金、健康に恵まれていたら…と考えるとありませんか？ なんとその4つの悩みが、実際に自殺を選択された方のおよそ70%の主要因であることがわかっています。その悩みがあいまって自殺を決意する人は後を絶ちません。自分を大切に思いやる心は、どこからくるのでしょうか？生まれ持ったものなのでしょうか？それとも親や教師から教えられてのものなのでしょうか？ 今回、自殺という個人的な選択行動が、社会的な要因において影響があるのではないかと仮説を設定しました。果たして統計的手法から解決の糸口を見いだせることができるのか。
P12	循環型学食生活～生ゴミから野菜を作ろう～ 中村将央(総政3年・今井ゼミ)・北脇涼 私たちは、神戸三田キャンパスの食堂(第一厚生棟、第二厚生棟)から出る生ごみを回収、堆肥化し、神戸三田キャンパスにある「エコファーム」6×8m2において、堆肥を利用した野菜を育て、それを学食に提供するという循環システムを考案し、8月のリサーチコンソーシアムで発表しました。今回のリサーチフェアでは、(1)学食から出る生ごみで作った堆肥、(2)市販の堆肥、(3)堆肥を使わない畑の3種類の畑で野菜(大根、白菜、ホウレンソウ)を栽培し、学食から出る生ごみは、野菜にとって有効かということと比較、検証した結果を発表します。
P13	あなたのUV防止、間違ってますか？～「UVカット」製品の紫外線防止効果の実証～ 工藤風貴(総政3年・客野ゼミ)・岩浅宏美・掛川幸子・木野まりえ・嶋村実香・橋爪未来・山本翔子・吉見愛・小野恵・川端章悟・杉山由佳・安光利恵 我々が日頃使っている、UV対策仕様の製品について、どれだけ紫外線を防ぐ効果があるのか、また、それらの製品をいかに用いたら、より紫外線を防げるか、実験に基づいた考察を行い、発表する。近年、紫外線予防への関心の高まりの中、UVカットと称する製品が急増している。それらの製品に、同等の紫外線防止効果があるのか実験し、外出時に一番適した服装、心がけを考察する。また、日傘などは、その差し方によっても、紫外線予防効果が変化すると思われる。太陽の方向等を考慮しながら、それら製品の適した扱い方を、調査し発表する。
P14	『風の谷のナウシカ』が共生観を変える！？～宗教の欠落という観点から～ 有川沙希(総政1年)・川西紫乃・壺井真依子・中飯隆太・田下恵美里・遅雅元 現在、環境破壊が問題になっている中で共生観の見直しが図られている。ここで、漫画版『風の谷のナウシカ』を使って自然との共生観を分析する。この漫画では①ナウシカ、②オウム又は森の人、③トルメキアという3つのグループに分けられる。すると、例えば近代人を象徴するトルメキアの人たちには、宗教的な考え方が欠落していることが分かる。現代人の生活への影響が薄れつつある「宗教」が、我々の共生観に大きく関与し、ついには環境問題にもつながっていることを今回の発表で明らかにする。

P15	オリコン週間ランキングから見る日本の音楽市場 西尾実(総政4年・眞壽田ゼミ) 音楽は全人類共通の文化であり、世界最古の楽譜は紀元前2世紀ごろのギリシアで発見されている。現代ではiPod、ウォークマンなどのデジタル音楽プレーヤーの誕生により、いつでもどこでも聴くことができる身近な存在であるが、それゆえの問題(孤児著作物の問題、著作権の侵害問題など)も発生している。そこでオリコン株式会社の『ORICON STYLE』< http://www.oricon.co.jp/rank/>の週間ランキングのデータを調査・分析し、国内音楽市場の変化や特徴を調べた。今回はその結果をもとに主に著作権問題(特に著作権の権利問題)の動向について考えていきたい。
P16	大学生の食生活に関する意識調査 亀川勇太(総政3年・李ゼミ)・下家地晃人・井高早紀・一瀬友香子・宇戸平葉子・矢吹恵・鄭恩敏 我々の発表は大学生の食生活の実態を明らかにし、健康的な生活を提案することを主たる目的としている。健康志向が高まってきている現代において、バランスの食生活の継続、改善は人々の目的の一つでもある。多くの学生は、高校生の時分より大学生になった今になったほうが、自分で自分の生活をコントロールする機会が多くなっているはずである。そんな中、大学生は食生活に対し、いったいどのような考えを持っているのかを調査する。そして得たデータを分析・考察し、学生に対し健康的な食生活の提案を行う。
P17	私達に関学生と胸をはって言わせてください～名実ともに求められる関学の底力～ ■■■■(総政3年)・高橋健・徳本優・真鍋達哉・井上彩友美・岩下飛鳥・賈瑞・馬場美由紀・村上千明・八木駿祐 総合政策学部が有名な大学は慶應義塾大学である。総合政策学部生であると言ったときに「すごい」と言われることを何度となく私たちは経験している。それは関学総政のイメージなのか？慶應の学生のおかげではないのか？仮に慶應の学生が我々を超える存在に育成されているとしたら関学とは何が違うのか？他の政策系学部はどうなのか？知名度はもちろん、学びの質においてもファーストチョイスを目指し、世界に誇れる関西学院大学、関西学院大学卒業生を育成するためにはどうすればよいのか。以上の事を実際の調査データを元に考察提案する。
P18	ソーシャルメディアの普及と企業がすべきコミュニケーション 吉川恵(総政3年・山田ゼミ)・上田遼一朗・中園真人・久門達・大谷智耶・山岡彩乃・愛甲真人・板垣慎一郎・畔柳智子・的野巧・米澤梓・道林梨紗 家庭へのPCの普及やスマートフォンや携帯電話に伴い、twitterやブログといったソーシャルメディアが急速に私達の日常生活に入ってきた。こうした双方向のユーザー間のコミュニケーションが可能なメディアの登場により、従来の広告においても企業から消費者への一方的な情報告知ではなく、ソーシャルメディアを用いることで、企業、ユーザー間、にとどまらずその企業の商品サービスのユーザー間の双方向のコミュニケーションが新しいコミュニケーションとなりつつある。しかしこうしたソーシャルメディアをどのように企業がコミュニケーションに生かすかについては、まだ明確で一般的な認識が存在しない。本報告では、こうしたソーシャルメディアのユーザをデータに基づき分析することで、ユーザの特徴を分類し、企業とのコミュニケーションとの活かし方を提案する。



自由形式 第1日(11月5日)

自由形式 1	MONGOLIA WEEK～ゲルなう。～ 多田渚(総政3年・上野真城子ゼミ)・上家沙織・岡田真由香・山見玲加・藤元惇一・李鳳国・横山千尋・黒田裕子・劉顕峰・中谷昌彦・西堂愛・横山翔太郎・奥村美也子・井原史章・芝辻祐太(理工3年)・坂上勝基(総政4年) この秋、KSCにモンゴルが上陸します！モンゴルといえば？ 朝青龍、草原、羊、大自然、遊牧民…しかし実際のモンゴルは都市開発が進み、広範囲にわたり様々な問題に直面しています。 生協棟前にモンゴルから持ち帰った移動式住居「ゲル」を建設し、民族衣装体験、モンゴルのキーパーソン・教授陣の対談、写真展示、Skypeを通しての現地高校生との交流、意見を共有しあうワークショップを予定しています。どこか懐かしさを感じるモンゴル。 ゲルの中に入れば、そこにはアジアの過去と未来が詰まっています。(第1厚生棟前、11月5・6日全日)
自由形式 2	阿蘇における草原維持～私たちにできることは？～ 高松佑季(総政4年・久野ゼミ)・千葉翔吾・根木敦生・槇香保里(総政3年)・石原愛子・金澤以久子・馬理・嶋村実香 熊本県阿蘇市において高齢化や牧畜従事者の不足などにより、草原維持が困難となり美しい景観や貴重な生態系が失われ始めている。そこで私たち「Link ASO」(久野ゼミ発祥の環境NPO)の活動として、草原の重要性や歴史的価値、現地の人の声などをフィールドワーク調査をもとに映像や写真なども用いて様々な角度から伝え、将来に美しい草原を残すために大学生の私たちができることを模索し、提案する。(Ⅱ-103教室;11月5日11:00～12:30)
自由形式 3	お試し小池ゼミ2～アメリカ政策研究など色々やってますよ～ 桜井祐貴(総政M1)・小池ゼミの3・4年生 昨年に引き続き、小池ゼミではお試し小池ゼミということで皆様に普段ゼミでどのようなことを行っているのかを体験していただきます。小池ゼミでは、アメリカ政策研究を軸として、オバマ政権がどのような政策をとってきたのか、また、今後どうしていくのかということに注目しながらそれらに対する評価、政策提案を行ったり、アメリカの社会が抱える課題などをゼミ生それぞれの関心のある分野に結びつけながら研究したりしております。ゼミ選び中のあなた！他のゼミ・学校のあなた！参加お待ちしております！(Ⅱ-105教室;11月5日11:00～18:00)



第2日(11月6日)口頭発表A会場(Ⅱ号館101教室)

9:00	A201 無理矢理グローバル化～不都合なイスラーム報道に踊らされる日本人～ 湯浅徹也(総政3年)・竹原慎太郎(法3年) 世界に15億人以上存在するイスラーム教徒。日本全体でグローバル化が叫ばれる現在、日本人はあまりにもこれらのことを知らなさすぎるのではないのでしょうか。このままの状態ではビジネスをはじめとする様々な交流をかれらと持つのはまず不可能でしょう。日本人がメディアや教育の場で接するイスラーム世界と現実との間には大きなギャップが存在します。欧米によって曲げられたイスラーム世界に対する様々な誤解を解き、偏見に囚われずにメディアのフィルターを外して事実を考察し、この現状に対して問題意識を持つことを促したいと思います。
9:30	A202 インドネシアにおける宗教間の空間構造の比較～ブラ・モスク・教会を取り上げて～ 松永卓馬(総政3年;角野ゼミ)・林佑次郎・寺町明子 私たちは夏季休暇中に、都市系合同ゼミによるインドネシア・スタディーツアーに参加し、実際に様々な、宗教の影響を受けてきた施設を見学しました。インドネシアは、ヒンドゥー教、イスラム教、キリスト教、仏教文化の影響を次々と受けてきた国です。コミュニティ施設としてブラ(バリヒンドゥーの寺院)、モスク、キリスト教会を取り上げ、集落の中での位置や機能、利用頻度などを比較します。観光産業の成長や近代化によるコミュニティの希薄化という問題提起をもとに、インドネシアでの宗教コミュニティの今後について考えます。
10:00	A203 4ポンドで空を飛ぶ? ～格安航空会社の現状と展望～ 磯山博輝(総政2年:関学航空政策研究会)・境井彰 格安航空会社(ローコストキャリアー・LCC)とは、その名の通り安価な運賃で旅客に空の旅を提供する、近年出現した外国発の航空会社の形態である。日本においては、既に日本のLCCであるスカイマークが空を飛び、羽田空港にマレーシアLCCのエア・アジアが就航予定、そして全日本空輸が設立を決定している。それに関わらず、未だ馴染みの薄いLCCであるが、欧米アジアでは大手航空会社を脅かすほどの市場規模を形成している。今回の発表では、海外および日本のLCCの現状と戦略、空の自由化時代に迫っている日本におけるLCCの将来的な展望を考えていきたい。
10:30	A204 地上デジタルテレビ放送に関する調査報告～総務省訪問記～ 栗山裕輝(総政3年;中野ゼミ)・福田聡菜 2011年7月24日、地上アナログテレビ放送が終了し、地上デジタルテレビ放送へ完全移行する。これに先駆けて中野ゼミでは「地上デジタルテレビ放送のメリット」に関して疑問点をまとめ、質問リストを作成し、総務省情報流通行政局を訪ねディスカッションを行った。今回のリサーチフェア2010においてはそのディスカッションの結果について報告するとともに、その結果新たに生まれた疑問点について検証を行う。
11:00	A205 全国ご当地ゆるキャラクターについて～俺たちはゆるくない～ 柴田絵理(総政3年;陣内ゼミ)・畑あゆみ・安部知奈美 ひこにゃん、せんとかん、まりもっこり…。全国の都道府県・自治体に数多く存在する「ご当地ゆるキャラ」。その数は年々増える一方で、私達日本人になごみや癒しを与えてくれている。本プレゼンテーションでは全国47都道府県、100種類以上のご当地ゆるキャラの調査概要を元に、ご当地ゆるキャラとは一体どういったものなのか、キャラクターデザイン・ネーミングにはどのような傾向があるのか、経済効果をあげている成功キャラにはどのような共通点があるのかを発表する。また、実際に自分たちでKSCのご当地ゆるキャラクターをデザインし、発表の場で名前の公募をおこないたいと思う。
12:00	A206 パパ、ママになりたい～もし、あなたの大切な人が不妊症だったら～ 武森ほのみ(総政3年;渡部ゼミ)・小南翔子・伊瀬綾香・水落夢子 みなさんは「不妊」という言葉を聞いたことがありますか?おそらく、妊娠や出産などの言葉を耳にすることや、経験したことのある方が圧倒的に多いように思います。「パパ、ママになりたい」という願いは、誰もが結婚すると共通して当たり前のように実現できることのように思われがちです。しかし、その願いがある一方で、それを現実にはできない女性や家族の悩みや葛藤があります。“もし、あなた自身が不妊症になってしまったら…” “もし、あなたのそばに不妊で悩んでいる人がいたら、あなたはどのようにして彼らを支えてあげられると思いますか?”
12:30	A207 児童虐待の発生要因とメカニズム 永尾愛(総政3年;李ゼミ)・岩井映璃・酒井里菜・三浦加奈子・劉霜 本研究では、社会的要因が児童虐待にどのように影響しているのかをマクロ的な観点から検討するため、都道府県別データに二次分析を施し、児童虐待の発生要因とメカニズムを検討する。なお分析には、2005国勢調査データ、2005年全国児童相談所の児童虐待対応件数都道府県別データ、都道府県別離婚率・失業率・保育所待機率・女性の就業率を使用する。分析には、上記のデータに相関分析、重回帰分析、共分散構造分析によるパス解析を施す。結果・考察については、発表当日に示す。
13:00	A208 どう見る押尾裁判 野田麻実(総政3年;関根ゼミ)・谿口阿佐美 世間の注目を集めた押尾裁判。彼に対する懲役2年6か月という実刑判決。あなたはどのように思いますか?今回、これほど世間の目が集中した理由の一つに、人が一人亡くなっている事実に対して、判決が軽すぎるという世間の意見が挙げられます。今回の裁判では、押尾被告は保護責任者遺棄致死罪にあたるのか、それとも遺棄罪にとどまるのかが争点となりました。過去に起きた事件と比較しながら、今回の判決は本当に妥当なのか私たちに検証したいと思います。

第2日(11月6日)口頭発表B会場(Ⅱ号館102教室)

9:00	B201 無駄にしない命の雫 ～モンゴルの生活から見える我等の課題～ <i>上家沙織(総政3年;上野ゼミ)・李鳳国・劉頤峰・西堂愛</i> 蛇口をひねると無限に水が出る。そんな環境にいる我々は水の大切さを忘れてしまっているのではないだろうか。しかし上下水道設備も整っておらず、水を得るのも困難といった状況も世界にはたくさんある。そんな途上国の一つにモンゴルがある。ゼミの夏季研修旅行で訪れたモンゴルで我々が見て感じ、学んだ現状。それは日本とはかけ離れたものであり、衝撃的であった。モンゴルにおける生活用水の現状と問題点、現地でのアンケート調査の結果を通じ、そこから見えてくる水の在り方や重要性について考えていく。
9:30	B202 都市に緑を～緑化版エコポイントの効果～ <i>千葉翔吾(総政4年;久野ゼミ)・和田真莉恵(龍谷大学経営3年)</i> 都市緑化政策は、1973年の都市緑地保全法の制定に見られるように、全国の都市で推進されてきた。しかし、近年では国・地方自治体の財政状態の悪化を受け、公共緑化事業費が圧縮されている。よって、これまでのように公共を主役とした都市緑化に期待することは困難な情勢である。私たちは、都市緑化の担い手を公共から市民に移行するための政策について考え、緑化版エコポイント制度に注目した。家電と住宅に利用され世間の注目を浴びたエコポイントを緑化に取り入れることで、都市緑化が推進されることを仮定しその効果について検証する。
10:00	B203 緑地福祉のすすめ <i>槇香保里(総政3年;久野ゼミ)・椿本くるみ</i> 私たちはこの夏にゼミの実習として、石川県にある白山ろくテーマパークに緑地福祉のひとつである園芸療法の実施を提案した。白山ろくテーマパークは指定管理者が運営している公園で、バーベキューやキャンプ場の提供などレクリエーションの場として利用されているが、近年では利用者が減少の一途をたどっている。そこで、私たちはこの公園に利用が増えるように新たな政策を提案した。私達は、そこで緑地福祉について発表するために調べたことを基に、実際のシミュレーションを具体的に考え、緑地福祉のあらたな可能性を発表する。
10:30	B204 コンクリートの川にホタルを増やそう～池尻川ホタル再生計画～ <i>瀬戸山知晴(有馬高校2年科学部)・大森聖和子・室崎隆晴・棘木悠(同1年)・奥絵梨香・清内優一・鈴木魁人</i> 三田市の2つのニュータウンの間を流れる池尻川は、コンクリート三面張りにも関わらず、少数であるがホタルが生息している。平成19年度より、土木事務所が事務局となって活動する武庫川上流ルネッサンス懇談会の協力で、このホタルを増やすための取り組みを行っている。まず、ホタルの幼虫、幼虫の餌となるカワニナ、その他の水生生物の調査を行った。それらの結果から、ホタルが生息できる場所を拡大するために、河床に水制の設置を行い、その効果を調べた。
11:00	B205 水質の感覚的指標の模索 <i>赤川紀乃(岡山龍谷高校1年)・石井宇・樫本京子・高橋駿太・信重愛代・森本安咲</i> 河川の浄化を考えた場合、まずは水質調査をし、どのような問題があるかを見いださなければならない。しかし、調査には実験道具が必要であり、金銭的な負担もある。そこで、今回は水質調査をすると同時に、感覚的指標を見出すことを目的とした。感覚的指標とは、ゴミの量や周囲の植物量、生物の多様性など、観測した人間の感覚によって決められる指標である。今回の調査では、あらかじめ決めた指標と水質との関連性を調べ、実際に感覚的指標を用いることができるかどうかを検討した。
11:30	B206 よい川ってどんな川?～笠岡を流れる河川の水質調査から分かったこと～ <i>荒谷友美(岡山龍谷高校2年)・出原麻琴・黒木樹菜・佐藤美帆・高橋佑樺・塚原大輔</i> 私たちの学校がある笠岡市は自然豊かな地域だと言われている。しかし、多くの市民はそれらの自然とふれあうことがあまりない。笠岡周辺の他地域では子どもたちが川で遊んでいる光景も見かけますが、笠岡ではそのような光景をほとんど目にしないのである。河川自体はもちろん周囲の環境も良く、多様な生物が生息可能であれば子どもたちも遊べる川になるのではないだろうか。そこで、良い川環境、とくに子どもたちが遊べるような川環境とはどのようなものか考察する手掛かりを得るため、学校の近くにある2つの川の水質を調査した。
12:00	B207 災害時における地域情報の活用に関する研究～佐用町における台風9号豪雨被害に注目 <i>榊原昌彦(総政研究科M1;長谷川ゼミ)</i> 2009年8月9日、台風第9号により、佐用町は1時間に89mm、降水量は326.5mmの集中豪雨にあい、死者18名、行方不明者2名の人的被害を始め、広範囲に及ぶ浸水など甚大な被害が発生した。佐用町のケーブルテレビ「佐用チャンネル」も地域メディアとして情報の提供を通して復旧・復興の支援を行った。筆者は「災害ボランティア」として佐用町へ行き、その取り組みでプロジェクトマネージャーとして約1ヶ月間の災害報道を行った。本研究は、筆者が「佐用チャンネル」での災害放送に携わる中で得た知見をまとめて、よりよい被災地での災害報道のあり方を「行政」「マスコミ」以外の視点から考えようとするものである。

ディベート大会 11月6日(土)9:00-14:40

		Ⅱ-303	Ⅱ-304	Ⅱ-305
時間帯／テーマ		テーマ1 伊丹空港は廃止すべきである。	テーマ2 小学生の英語教育義務化は是か非か？	テーマ3 日本は食料自給率100%をめざすべきだ
予選第1リーグ	9:00-9:30	高畑ゼミ × 斉藤ゼミ	村瀬Aゼミ × 今井ゼミ	吉野ゼミ × 小池ゼミ
	9:30-10:00	吉野ゼミ × 今井ゼミ	高畑ゼミ × 小池ゼミ	村瀬Aゼミ × 斉藤ゼミ
	10:00-10:30	村瀬Aゼミ × 小池ゼミ	吉野ゼミ × 斉藤ゼミ	高畑ゼミ × 今井ゼミ
休憩				
予選第2リーグ	11:00-11:30	古川ゼミ × 宮川ゼミ	村瀬Bゼミ × 山田ゼミ	鎌田ゼミ × 関根ゼミ
	11:30-12:00	鎌田ゼミ × 山田ゼミ	古川ゼミ × 関根ゼミ	村瀬Bゼミ × 宮川ゼミ
	12:00-12:30	村瀬Bゼミ × 関根ゼミ	鎌田ゼミ × 宮川ゼミ	古川ゼミ × 山田ゼミ
休憩・集計(決勝トーナメント進出チーム発表)				
準決勝・決勝	テーマ:消費税は上げるべきである			
	13:30-14:00		第1リーグ1位 × 第2リーグ2位	第2リーグ1位 × 第1リーグ2位
	14:10-14:40		勝者 × 勝者	

- 参加チームは基礎演習を単位とします。1チームのメンバー数に制限はありませんが、1回の試合に出場する最大4名とします。
- 各チームは予選リーグで3試合、それぞれ異なるテーマでディベートしていただきます。決勝トーナメントの進出は、勝ち負け数と審査員による評価の絶対点数で決定します。
- 決勝トーナメントでは、「消費税はあげるべきである」というテーマで準決勝・決勝を行います。
- 試合の時間配分ですが、右表に示します。時間制限にご協力下さい。
時間が限られているため、略式ディベートの形をとります。

5. 準決勝・決勝進出チームには副賞(図書カード)等を授与する予定です。

肯定側立論	3分
否定側立論	3分
作戦タイム	2分
肯定側反対尋問	4分
否定側反対尋問	4分
作戦タイム	2分
否定側最終弁論	3分
肯定側最終弁論	3分
計	24分
1クール	30分(交替時間6分)

自由形式 第2日(11月6日)

自由形式 1	MONGOLIA WEEK～ゲルなう。～ 多田渚(総政3年;上野真城子ゼミ)・上家沙織・岡田真由香・山見玲加・藤元惇一・李鳳国・横山千尋・黒田裕子・劉顕峰・中谷昌彦・西堂愛・横山翔太郎・奥村美也子・井原史章・芝辻祐太(理工3年)・坂上勝基(総政4年) この秋、KSCにモンゴルが上陸します！モンゴルといえど？ 朝青龍、草原、羊、大自然、遊牧民…しかし実際のモンゴルは都市開発が進み、広範囲にわたり様々な問題に直面しています。 生協棟前にモンゴルから持ち帰った移動式住居「ゲル」を建設し、民族衣装体験、モンゴルのキーパーソン・教授陣の対談、写真展示、Skypeを通しての現地高校生との交流、意見を共有しあうワークショップを予定しています。どこか懐かしさを感じるモンゴル。 ゲルの中に入れば、そこにはアジアの過去と未来が詰まっています。(第1厚生棟前、11月5・6日全日)
自由形式 4	開かれた非営利電波利用プラットフォームの紹介 ～JL3YJF局の活動紹介～ 中野幸紀(総政教員)・仲田周祐(総政1999年3月卒業(1期生))・その他JL3YJF局のメンバー(総政3・4年生) 昨年の秋学期に総合政策学部新学科開設記念事業の一環として開講した、「政策トピックスD: フィールドワーカーのための電波利用講座」の一年間の活動報告を中心に、「開かれた非営利電波利用プラットフォームの1形式としてのアマチュア無線社団局」の神戸三田キャンパス構内(リサーチフェア会場)における種々の電波利用デモンストレーションを行う。(Ⅱ号館中央入口ホール; 9:00～13:00)

第2日(11月6日[土])同窓会OBG企画E会場(Ⅱ号館201教室等)

総合政策学部同窓会提供 シンポジウム「記者の目から見た就活最前線！」 ～人は何故に「働く」のか？～

11月6日(土) 10:30～12:00 Ⅱ-201

リサフェで総政同窓会が、「就職」がテーマのシンポジウムをやります！
テーマは就職活動。パネリストは関学出身で毎日放送の三澤肇記者と大西亮記者(総政出身;2期生)。バリバリ働くOBたちの話を聞いて「人は何故に働くのか？」ということを見直してみませんか？
参加をお待ちしています！

超就職氷河期と言われる近年。
あなたは就職活動に自信を持って取り組みますか？ また、将来の働き方に明確なビジョンはありますか？
悩める学生のために特別シンポジウムを緊急企画！
関学が誇る名物ジャーナリスト三澤肇氏と総政出身の報道記者大西亮氏が就職氷河期の実態を鋭く分析！
夢にチャレンジし続ける先輩達の熱いエールも送ります。こんな時代だからこそ、夢を持って生きていきたい！！
あなたの将来ビジョンを明確にするチャンスです。ぜひとも一緒に「働く」ことについて考えてみませんか？

三澤 肇

経済学部卒。MBS報道記者。元アナウンサー。『MBSナウ』『VOICE』『NEWS23』等、数々の報道番組でキャスターを務める。現在は記者業に専念し、関西を中心に取材生活を送っている。
鋭い切り口で現代社会の矛盾を追及する敏腕ジャーナリスト。

大西 亮

総合政策学部卒。2期生。MBS報道記者。学生時代より、卓越したリーダーシップで、学部の中心的存在となる。記者となった現在もその行動力で圧倒的な存在感を示している。

松下 裕崇

総合政策学部卒、3期生。庭師。卒業後、単身イギリスに渡り、独学でガーデニングを学ぶ。パティシエ・エス・コヤマの庭を独創的に創り上げ、注目を浴びている。

三本松 慎二

総合政策学部卒、4期生。(株)オリエンタルランド勤務。東京ディズニーランドという憧れの職場で、日々“夢の世界”の創造に邁進。日本一のサービスとは何かを常に模索し続けている。

小杉 崇浩(コーディネーター)

総合政策学部卒、2期生。NPO法人WELnetさん代表理事。大学院在学中にNPO法人WELnetさんだを設立。スタッフ約70名で、誰もがあきらめなくてもよい地域の実現に向けて奔走中。

パ
ネ
リ
ス
ト
プ
ロ
フ
ィ
ー
ル

総合政策学部同窓会OBG車座企画

在校生の皆さんへ

総合政策学部同窓会では、今年もリサーチフェアにて総合政策学部同窓会OBG企画を行うこととなりました。本企画では、昨年に引き続き、車座での座談会を行います。卒業後、OBGが実際にこれまでの社会人としての経験、就職後に訪れた仕事上・生活上の壁や転機にどう対処してきたかなどの体験をもとに、学生との相互交流や意見交換、議論を活発に行って頂きたいと思っています。チューターの皆様のご協力を得て、今年も企画を盛り上げて学生、OBG共に実りのある交流が出来ればと思っていますので、在校生の皆様には、是非、ご参加ください。

関西学院大学総合政策学部同窓会

13:00～16:00				
リサフェでOBG訪問！～総政人のその後を聞く！～				
各車座 45分×3回 学生10人程度 入替え制（追加、会場等変更の可能性あり）				
	テーマ	チューター名 (在学中のゼミ) 企業名・職種等	テーマ・チューターのプロフィール	会場
1	働くことは高校生の部活動	有井 次郎 4期生/Greeneゼミ リスクモンスター(株) マネジメント	大学生の頃はスーツを着て働くサラリーマンがダサイと感じ、結局就職浪人。でも、ビジネスLIFEを経験するとめっちゃオモロイ。働くことは部活動と同じで、努力→結果→フィードバック(給料・評価)。大手システム企業から小さいながらもエッジの効いた上場企業へ転職。営業・企画・監査・CSR等幅広く担当し現在はマネジメント。 【Key】 ①就職浪人したけど社会でブレイクしたよ ②友情・努力・勝利(ジャンプ三大原則) ③ベンチャー＝ソウセイ的？ 学生時代は政策学生交流会、旅人、タコヤキ。高校生の子供を持つ3児の父親31歳。オモロイ学生スカウトしたい。Twitterはjiromin。三田出身。	Ⅱ－105
2	自分マネジメント	岩谷 裕司 1期生/高畑ゼミ 小林製薬(株) 経営企画	学生時代は高畑ゼミで自由にやらせて頂いておりました。何とか無事に就職し、営業からマーケティングを経て、現在は経営企画に携わっています。 今更ながら、若さ＝可能性のかたまり、だと感じる事が多くあります。将来についての悩み、自分がやりたい事をどうやって見つけるか、なりたい姿になるために今何をやればいいのか、といった事を、皆さんと気軽に話をしたいと思います。是非お役に立てれば。	Ⅱ－107
3	就職活動、その後のなし	金 英愛 5期生/細見ゼミ (株)トイズコーポレーション 営業企画 片山 まゆみ 5期生/渡部ゼミ (株)キッズシティージャパン 高山 恵治 5期生/Greeneゼミ 三菱重工業(株) 航空・宇宙事業部 調達	氷河期の就職・転職経験 ①氷河期から始まった、ジグザグのキャリア話。②人と、仕事と、総政出身者であること。③目標なんてなくていい。 卒業後、リクルートの代理店で広告営業→身内の会社を手伝ってシンガポールを行ったり来たり→リクルートで広告制作→現職はアパレル向け物流会社で営業兼・人事兼・企画兼…何でも屋をやっています。 総政を卒業し、それぞれが就職活動を経験、転職も経験。今だから思うことも沢山あるし、あれでよかった、あるいはああしたらもっとよかったと思うこともみえてきた。そんな話ができればと思っています。これから就職活動を向かえる方と、色んな話がしたいと思います。 『とにかく自分の直感を信じて行動あるのみ』『総政でよかったと思う瞬間が必ず来るよ』あの時の私たちを振り返りつつ、色んな話をしたいと思います。 この日本にたしか未来を！ ①現在の仕事(航空・宇宙パイヤーとは) ②”就活氷河期”に負けない就職活動(国盗ゲーム的就活のススメ) ③成功する就活三種の神器:「仲間」「経験」「夢」 【プロフィール】大学時代はSCS1期生として仲間と総政の歴史創りに没頭していた気がします(ex.スポーツ大会や総政大合宿、ビジネスコンテストなど)。その後”風変わり就活”を実施し、新卒の会社では産業車両のパイヤーを7年間経験。今年からは航空宇宙のパイヤーにジョブチェンジしました。どちらも”超氷河期”真っ只中でしたが、簡単な”事前準備”を行った結果、満足いく就活/転活をすることが出来ました。当日は楽しく就活を送り、相思相愛の会社に出会う方法を自身の経験と社会人としての立場からお話したいと思っています。卒業以来のリサフェです。楽しみにしています！	Ⅱ－111
4	たのしく生きる方法	吉澤 敬士 1期生/鈴木基史ゼミ NOWHERE-D. 社長	ゼミではゲーム理論を研究。日本IBM(営業・商品企画)就職後、Apple(営業部マネージャー、iTunes日本導入担当)を経て、ブランドコンサルティング&デザイン会社を起業。現在、NTTdocomo i-modeクリエイティブディレクター、化粧品会社アートディレクション等を担当。 キーワード: 就活、会社、仕事、自分を楽しむ・学生生活と社会人生活・想像と現実の違い、多くのワナ・外資で働く事・クリエイターになること・起業すること・「好き」を仕事にすること・就職する前に知っておきたかった事等。	Ⅱ－112

5	対人援助職！	荒木 澄玲 1期生/渡部ゼミ 芦屋市潮見高齢者 生活支援センター 社会福祉士	大学時代に出会った高齢者福祉。新卒では一般企業に就職しましたが、2年で退職して特別養護老人ホームの介護職、在宅介護支援センターのソーシャルワーカーを経て、地域包括支援センターで高齢者福祉の相談の仕事をしています。社会福祉士の受験資格は、卒業後に専門学校（通信課程）で学んで取りました。普段、一緒に対人援助の勉強会をしているメンバーで車座をしますの、あと2、3人増える予定です！！『人を支援する仕事』に興味のある方はぜひお越しください。	Ⅱ－109
		中村 恵子 8期生/渡部ゼミ 大阪府立の支援学校 教諭	大学時代は、渡部ゼミで心理学や福祉、教育などについて学んでいました。また、ボランティアサークルに所属し、障がいを持った子どもの音楽療法や成人の方の余暇支援、子どもたちのキャンプリーダーなどの活動に参加していました。現在社会人5年目。新卒で入った学校で4年勤務した後、今年の4月から今の学校で勤務しています。毎日、バタバタと走り回っていますが、充実しています。	
6	公務員は本当に安定？！	赤松 克之 1期生/片寄ゼミ 兵庫県庁 事務	政権交代で公務員の給料削減が言われていますが、それが地方まで波及してくるでしょうか。一般的に安定的と言われている公務員のお仕事。はたしてその真相は。	Ⅱ－214
7	教育	山田 優介 2期生/中條ゼミ 啓明学院中・高等学校 数学科教諭 北村 美香 1期生/久野ゼミ 宝塚市公立中学校 社会科教諭	総合政策学部出身者として、現在学校の教員として働いている現役教師が、その実情について語り、教員を志すみなさんのアドバイスが出来ればと思います。今年はクラブ指導などの関係で、公立の教員、私立の教員1名ずつの参加ですが、なかなか聞くことができない学校の現状について、みなさんの質問を受ける形で進めていきたいと考えています。教員を志している人にとって、本当に学校の先生という職業が自分にとっていいのかどうかを考える一助となれたらと思っています。	Ⅱ－214
8	SEとして働くとは？～現役SEのホンネをお話します～	木下 貴史 1期生/片寄ゼミ 日本アイ・ビー・エム(株) SE	総合政策学部の学生にこそ知ってもらいたいSEの仕事 学生時代は片寄ゼミでまちづくりを研究・実践、大学院修了後は「SEとはお客様が抱える課題に対して、システムという解決策を提供する仕事(だったかな)」という言葉に惹かれて現在の会社に入社。一貫して、銀行のシステム構築をプロジェクト・マネージャ兼インフラ系SEとして担当しています。当日は、＜①システムって何？／②SEってどういう仕事？／③プロジェクト・マネージャって何？＞を中心にお話できればと思います。	Ⅱ－214
		長井 祥子 4期生/加藤ゼミ トラスコ中山(株) 社内SE	SEいろいろQ&A！ 総政で都市について学び、他大学の大学院で博物館について研究していました。卒業後、専門知識がないにも関わらずシステム会社に入社。3年間システム開発を経験した後、商社の情報システム部門に転職しました。社内SEとしてシステム運用に携わり、結婚を機に時短勤務で働いています。	
		木村 真里子 11期生/窪田ゼミ NRIネットワークコミュニケーションズ(株)	【SE Q&A】 ①プログラミングができないけどSEになれる？ ⇒なれます！プログラミングは一部。コミュニケーションが大切！ ②SEになるのに今のうちに心がけておくことは・・・？ ⇒聞き上手を目指そう。わからないこと、へんだなと思うことは追求しよう。 ③SEって忙しくてたいへんなんじゃない？ ⇒夜間勤務もあるけれど、定時で帰れるSEもあります！ そのほか・・・転職のことなんかもお話できればと思います。	
			SEのお仕事 ①SEのお仕事とは、②私が何故SEを選んだのか、③私の就職活動 社会人2年目。大学生協システムの開発に携わっています。SEはあまり良いイメージを持たない方も多いと思いますが、私の職場では女性が多く働いています。手に職系のお仕事なので、勉強しなければならないこともありますが、自分に出来ることや分かることが増えることで、自分に自信がつかます。	
9	最大限に生きる	蔵本 雄一 6期生/村田ゼミ エンゲージメントコーチ	●安定志向の方には向きません！！●社会に入っても、夢を叶えたい人は絶対に来てください。(学生時代)・カナダのQueen's大学へ交換留学・ピースポートの日英通訳で100日間地球一周(社会人～現在) NOVAに入社するが、破綻前に危機感を感じ退職。人や組織が能力を発揮しイキイキすることに興味を持ち、人材育成コンサル会社に就職。10年4月、プロコーチとして独立。コーチ仲間と、ロンドンオリンピックにて日本選手がメダル10個とるメンタルサポートが近くの目標。	Ⅱ－214
10	マスコミの現場	藪内 朋之 3期生/関根ゼミ (株)産経新聞社 記者 窪田 美沙 2期生/園田ゼミ (株)日刊工業新聞社 記者	在学中は関学新聞で活躍。卒業後、2003年、現在の会社に入社。和歌山、豊岡支局などを経て、3年前に大阪本社整理部に異動。現在は地方版を担当し、レイアウトやみだしをつけるなどしている。 【キーワード】①記者の毎日 ②ニュースを捉える ③異業種からのマスコミ転職は難しい？ 大学卒業後、リース会社で5年営業を経験し、1年のブランクを経て現在の会社へ。経済記者歴4年目になりますが、まだまだ修行の毎日…	Ⅱ－202

11	総政的視点でみる、外資系マーケティング職	武田 優子 5期生/Greeneゼミ マーケティング	キーワード:①外資系企業 ②マーケティング/ブランディング ③総合政策 外資系消費財メーカーでマーケティングに従事すること、はや8年目。これまでの経験を踏まえ、外資系企業で働くということ、ブランドマネージャーの仕事、キャリアプランニングについてお話ししたいと思います。もちろん、総政的視点で。	Ⅱ-203
12	営業のお仕事	堀内 麻利子 7期生/古川ゼミ (株)島精機製作所 営業 吉田 智彦 10期生/Sawyarゼミ ユニ・チャーム(株) 営業 次田 晋祐 11期生/鈴木ゼミ 鉄鋼商社 太田 衣保 11期生/Greeneゼミ 住友スリーエム(株)	営業は怖くない 「女性で営業マン？」私がよく言われるワードです。皆さんは女性営業という職種にネガティブな印象を持っていますか？ 営業はムリ、と最初から諦めている女性はいませんか？ 総政で学んだ事がこんなに評価されるのにもったいないですよ！ 将来の選択肢を増やしに、冷やかに、是非お越し下さい。ファッションデザイン関連、CG関連のご質問にもお答えします。 NO.1であり続ける戦略プロセス営業 新卒にて入社、3年目。現在、岡山県内の地場企業を担当。ユニ・チャームは、ベビーオムツ・生理用品・介護オムツなどのカテゴリでナンバーワンのシェアをいただいています。一人の営業として、担当企業の売上拡大を実現させる為、また会社のナンバーワンブランドを維持させる為の戦略プロセス営業を紹介できればと思います。 OB赤裸々交流会 少しでも「いい会社」に入るために資格取得に励むわけでもなく、ただ自分の趣味にお金と時間を使い、就職活動も漠然と「商社・営業・鉄」で選び今の会社に入社。就職だけに限らず先輩社会人に聞きたいこと、なんでもござっばらんにお話ししよう！ 2年目フレッシュ営業 ①女性の営業・キャリア ②就職活動 ③学生時代 大学では、ゼミ活動と海外旅行に没頭していました。「仕事」と「プライベート」をしっかりと割り切り、どちらも最大限に楽しむということを意識し、日々を送っています。	Ⅱ-204
13	外資系及びコンサルティングファームの採用担当者の目線	青井 孝之 5期生/Greeneゼミ Deloitte Touche Tohmatsu/ 有限責任監査法人トーマツ 人事	・外資系企業、コンサルティングファームで採用を担当を歴任。 ・新卒で日本ヒューレット・パッカードでセールスと人事にて採用などを担当、その後アカウンティングファームDeloitte Touche Tohmatsu/有限責任監査法人トーマツでグループ会社を含めた中途採用、新卒採用ともに主担当。 ・外資系企業、IT業界、コンサルティング業界における採用事情に精通しています。面接官としての面接回数も数限りありません。 ・学生時代は留学したり、海外を旅したり、ゼミでひたすら議論をし続けたり、やりたい放題やっていました。	Ⅱ-205
14	海外を舞台に働く	越智 昭太 8期生/松村ゼミ 資材・購買 佐藤 裕介 9期生/Greeneゼミ フリーランス 経営企画 栗林フリッツ幹雄 10期生/Greeneゼミ マースジャパンリミテッド→旅人	買い物をする難しさ ①売るのが仕事じゃない ②社内・社外・国外 異文化に接する苦労/面白さ 大学時代はエコハビ、卒パ実行委員、SCS、他ゼミ聴講と総政漬けな4年間でした。社会人になったら中之島や丸の内までビシッとスーツを着て働くのかと思っていたら尼崎の工場配属。日々、ものづくりの難しさに直面しています。 会社に依存しない働き方 ①本当のリスクって ②流動スキルが大切 ③やりたくないことはやらんよ KSC生活を極めて怠惰に過ごし、Googleに入社。広告製品、YouTubeのプロダクトマーケティングに従事し、現在は複数の技術系スタートアップでお金儲け係。その他、SONY、JR東日本のインターネット戦略立案支援など。のんびりマイペースなアナタは是非どうぞ。Twitter: usksato ハイリスク・ハイリターンへの興奮 外資系消費財メーカー「マースジャパンリミテッド」(SNICKERS,m&m's,PEDIGREE等)のマーケティング&ファイナンス勤務(二年半)を経て、10年09月に退職。10年12月より独立行政法人JICA+企業スポンサー協力のもと、世界一周の旅に出るため準備中。25歳未だモトリアム。来年何してるかわかんない！というスリリングな人生に最近は興奮してます。三年間でかなり価値観が色々動いたので、そのへんの話がおもしろいかも。	Ⅱ-206
15	メーカーで働く	小池 唯 10期生/今井ゼミ TOTO(株) 販売推進 甲斐 康裕 11期生/今泉ゼミ 日本電気(株) 営業 佐藤 侑子 10期生/Greeneゼミ P&G Finance	色々な仕事のある会社で働く ①社内の色々な仕事紹介 ②異動の経験から ③総政でやってよかったこと 大学時代はリサフェや宝塚のまちづくり活動等に参加。特に業種を絞らず就活し、TOTOに新卒入社。1年目はトイレの販売推進、2~3年目は医療機器(新規事業)の販売推進を担当。 学生と社会人・・・ ①交換留学と学生時代。②ソリューション営業と社会人時代。③コミュニケーション♪ 高校時代にアメリカ(ミシガン州)へ1年間交換留学。大学時代は今泉ゼミでアメリカ社会(歴史)について研究した上、アトランタ等へアメリカ研修へ(約1カ月間、違ったアメリカの姿)。現在の会社に就職して2年目で、社会の厳しさに触れながら、ソリューション営業を日々勉強中。 外資・メーカー・経営戦略 ①What's 外資? ②What's happy life / happy work? 大学時代は体育会スケート部に所属し練習の毎日でした。現在社会人3年目。二つ目の仕事(利益予測屋)で劇的に環境や仕事内容が変わり、内資から外資へと転職をしたような感覚を味わいました。(実際にはしていませんが…)	Ⅱ-207

Research Fair 2010

presents

授賞式・懇親会

発表形式ごとに最優秀賞受賞者の発表・授賞のほか、発表者・参加者・同窓会の先輩が楽しく語る場です

ぜひ、ふるってご参加下さい

日時：11月6日(土) 16時30分より
第三厚生棟にて



総合政策学部の学生の皆さんへ(予告;12月7日を予定)

総合政策学部・キャリアセンター共催

総合政策学部キャリアデザインセミナー

学部独自キャリアプログラムとして
総合政策学部に採用実績のある企業、総合政策という学問領域で
研究を深める皆さんに期待を寄せる企業、計5社による企業セ
ミナーを開催

3回生は第一部合同セミナーと第二部企業別分科会で
企業を研究し、若手先輩社員の「働き方」を知る機会に！

1回生、2回生は企業セミナーを体験し、企業が期待する学生像、
総合政策学部での学びの意味を考える機会に！

参加予定企業(企業名五十音順)

TIS(株)、トステム(株)、(株)三井住友銀行、三菱重工業、郵船ロジスティックス(株)

日時：2010年12月7日(火) 15:00～18:30(詳細は下記参照)

会場：関西学院大学神戸三田キャンパス(三田市学園2-1)Ⅱ号館201教室他

対象学生：総合政策学部3年生および総合政策学部1・2年生

◎3年生対象プログラム

第1部 合同セミナー 15:10～16:40 (15分×5社による業界・企業説明;Ⅱ-201教室)

第2部 企業別分科会 16:50～18:30 (30分×3回の分科会;Ⅱ号館内の各教室)

◎1・2年生対象プログラム

第1部 合同セミナー 16:50～18:20 (15分×5社による業界・企業説明)

【内容】第1部は各企業の人事担当者をお招きし、「業界動向・企業動向」について、また加えて「総合政策学部生に期待すること」についてお話をいただきます。

第2部は3回生のみを対象とし、企業ごとに若手卒業生社員の方による実体験を伺い、先輩方に質問できる機会とします。

企業の採用担当者の方にとってセミナーでのイメージが関学生、総合政策学部のイメージとなりかねません。以下の4点について厳重に注意してください。

- ★ 第1部では遅刻者の入場および途中退出は認めません。時間厳守を心がけてください。
- ★ セミナーの妨げになりますので、私語を慎み、携帯電話の電源はOFFにしておいてください。指示に従わない場合には強制的な退室もあります。
- ★ セミナー中はもちろんのこと、セミナー会場内での飲食は禁止です。
- ★ 学部主催のセミナーですので、リクルートスーツの着用は不要です。

参加する計5社の企業プロフィールは、11/9(火)より総合政策学部事務室カウンターおよび、キャリアセンターカウンターにて配布します。

卒業パーティ実行委員メンバー募集中★

メンバーです★
みんな仲良く明るく
楽しく！頑張っていま
す☆...☆... (♡`人)

4年間三田で過ごしたのに、
なぜか卒業式は上ヶ原！
そんなの寂し過ぎると思いませんか？
その寂しさを解消するのが・・・



阪急宝塚ホテルで卒業式後に行われる、総合政策学部による総合政策学部だけの
総合政策学部卒業パーティ！！！！



毎年9割を超える卒業生に参加頂き、
今年で13年目になります★
企画や司会進行、会場手続き・・・etc、
すべて自分たちで行います♪



スタッフは毎年のように、
先輩の笑顔と「ありがとう」
の言葉で号泣します。
感動とやりがいを分かち合え
る、そんなサークルです。

... So, Why Don't You Join Us!?

・質問
・一秒でも早く入りたい
そんなあなたは今すぐ藤本淳一（総3）bol63566@yahoo.co.jp
まで★！

☆本年度も、3月18日（金）の上ヶ原での卒業式後、総合政策学部卒業記念パーティーが計画されています。卒業予定者の方は、是非、ご参加ください。

2010年10月27日（水）発行
関西学院大学総合政策学部
リサーチ・フェア実行委員会